

高萩市バリアフリー マスタープラン



すべての人が安全・安心で快適に移動でき、
つながりと共生を育むまちづくり

令和 8 年 3 月
茨城県 高萩市

高萩市バリアフリーマスタープラン

目次

序章 策定にあたって.....	1
1. 計画策定の背景と目的.....	1
2. 計画の位置づけ.....	2
3. 計画期間.....	2
第Ⅰ章 高萩市の概要.....	3
Ⅰ－1 高萩市の現況.....	3
1. 位置・地勢.....	3
2. 人口.....	4
3. 都市計画.....	8
Ⅰ－2 バリアフリーに関する市民意向.....	12
1. 市民意向調査の概要.....	12
2. 意向調査結果.....	12
Ⅰ－3 関係団体ヒアリング.....	13
1. ヒアリングの概要.....	13
2. ヒアリングのまとめ.....	14
第Ⅱ章 移動等円滑化の基本的な考え方.....	17
Ⅱ－1 まちの点検（まち歩き）.....	17
1. 実施概要.....	17
2. バリアフリー点検の結果.....	20
Ⅱ－2 移動等円滑化に向けた現状.....	24
1. 公共交通の状況.....	24
2. JR高萩駅周辺の施設の状況.....	30
3. 観光来訪者の状況.....	36
Ⅱ－3 バリアフリーマスタープランの課題.....	39
Ⅱ－4 移動等円滑化の基本的な考え方.....	41
1. 基本的な考え方.....	41
2. 基本理念と目標.....	41
Ⅱ－5 移動等円滑化促進地区の設定.....	42
1. 移動等円滑化促進地区の要件.....	42
2. 移動等円滑化促進地区に関して記載する事項.....	42
3. 移動等円滑化促進地区の設定.....	44
4. 生活関連施設及び生活関連経路の設定.....	45

第Ⅲ章	移動等円滑化促進地区におけるバリアフリー化の施策.....	47
Ⅲ-1	バリアフリー化の基本方針.....	47
Ⅲ-2	バリアフリー化の施策.....	48
第Ⅳ章	移動等円滑化の推進.....	55
Ⅳ-1	行為に関する届出.....	55
1.	届出制度の概要.....	55
2.	届出制度の対象となる範囲.....	55
Ⅳ-2	市町村が行う移動等円滑化に関する情報の収集、整理及び提供に関する事項.....	57
Ⅳ-3	その他、移動等円滑化促進地区における移動等円滑化の促進のために必要な事項.....	57
Ⅳ-4	移動等円滑化促進方針の評価に関する事項.....	58
資料編	59
1.	策定の経緯.....	59
2.	策定協議会設置要綱.....	60
3.	策定協議会名簿.....	61
4.	用語集.....	62
5.	市民意向調査結果.....	63



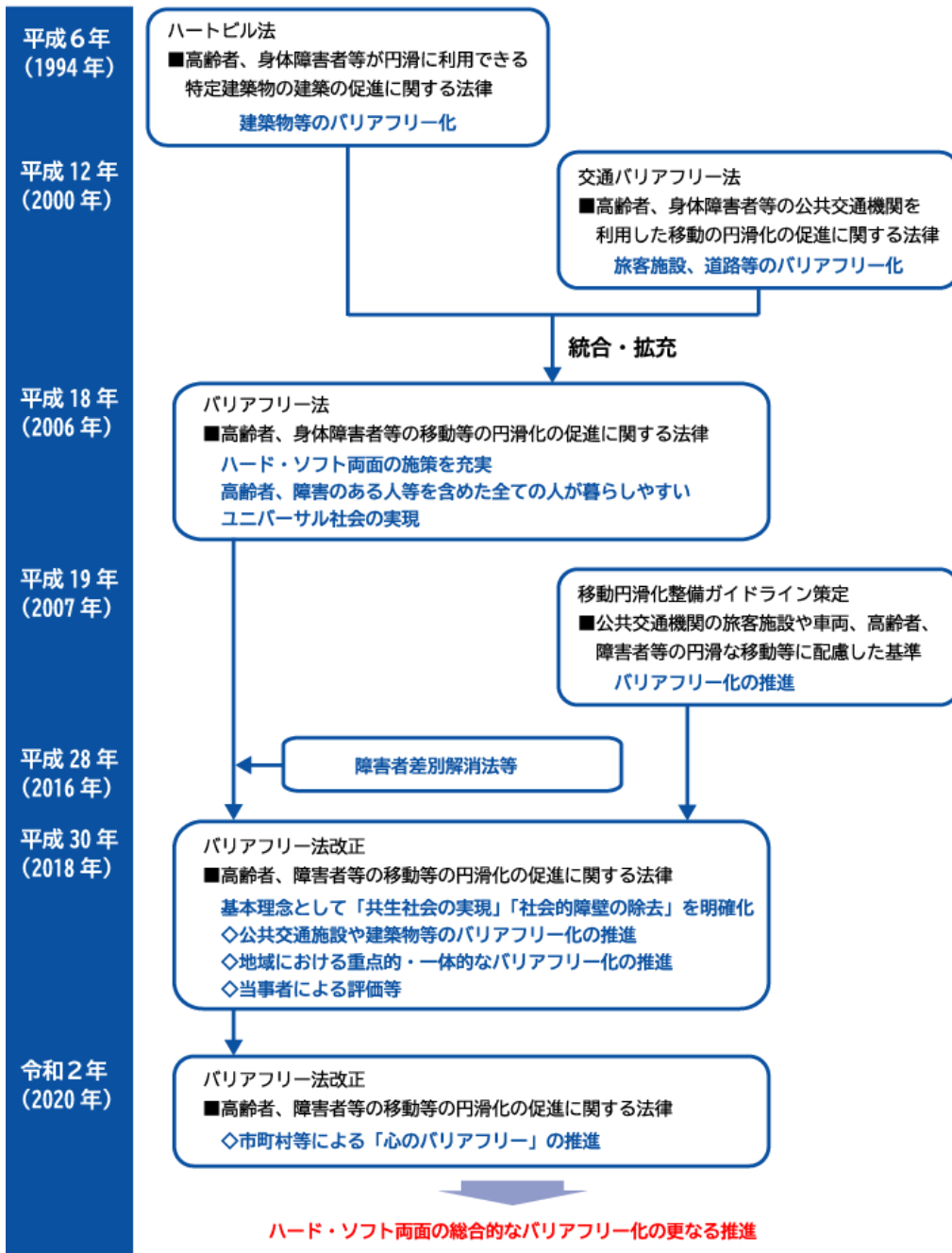
序章 策定にあたって

1. 計画策定の背景と目的

国においては、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（以下、「バリアフリー法」という。）」を一部改正し、市町村がバリアフリーに関するマスタープランを策定する制度を創設し、バリアフリーのまちづくりに対する取組を強化しています。

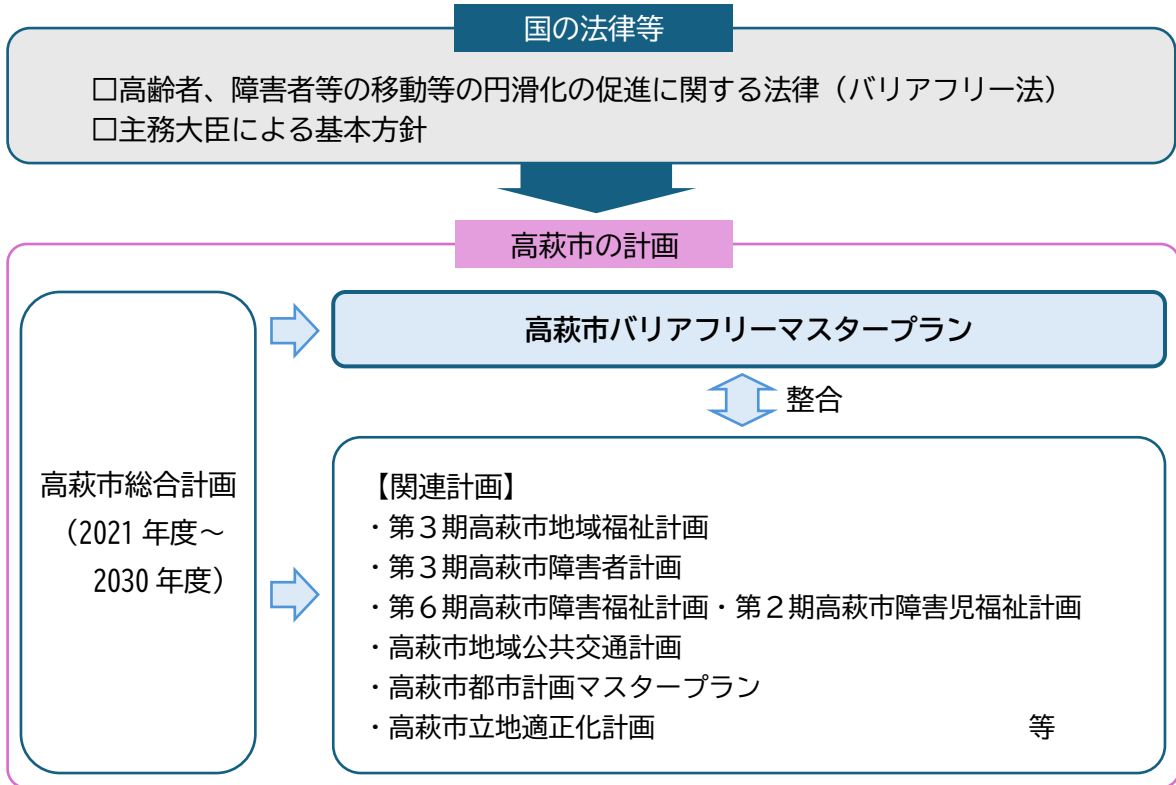
このことから、地域における高齢者や障がい者等が日常生活や社会生活を確保する上で生活の支障となる物理的障がいや精神的障がいを取り除き、都市整備等と連携したバリアフリー化を推進するため、バリアフリーの基本方針（以下、「本マスタープラン」という。）を策定します。

図ーバリアフリーに関する法制度の変遷



2. 計画の位置づけ

本マスタープランは、バリアフリー法及び基本方針に基づいて策定します。また、策定にあたっては、高萩市総合計画をはじめとする上位・関連計画の考え方を踏襲し、整合性について十分に考慮します。



3. 計画期間

本マスタープランの期間は、令和8(2026)年度から令和17(2035)年度までの10年間とします。

なお、5年目の令和12(2030)年度を目処に、移動等円滑化促進地区における移動等円滑化に関する措置の実施の状況についての調査、分析及び評価を行うよう努め、本マスタープランを見直すものとします。



第 I 章 高萩市の概要

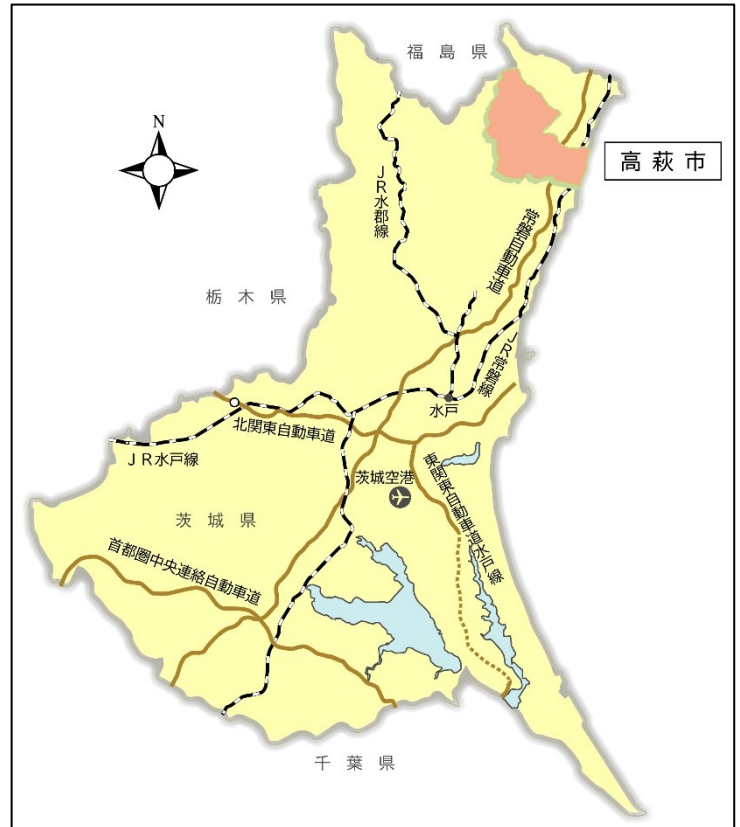
I - 1 高萩市の現況

1. 位置・地勢

高萩市は、茨城県の北東部に位置し、首都圏から 150 km 圏、県庁所在地の水戸市からは約 45 km に位置します。面積は 193.55 km² で、北部は北茨城市及び福島県東白川郡塙町、西部は常陸太田市、南部は日立市に接しています。

また、交通網は、首都圏や水戸市、仙台方面とは常磐自動車道、国道 6 号、JR 常磐線で結ばれると共に、磐越自動車道により東北自動車道方面へのアクセスも確保されている他、福島空港へのアクセスも可能で、広域への利便性も確保されています。

図－高萩市の位置



本市は、古くから人々の生活が営まれてきましたが、江戸時代になると、現在の秋田県角館町から移された戸沢氏が、竜子山城を改修するとともに麓に平城を築き松岡城と改称し、水戸藩の附家老中山氏の城下町となりました。

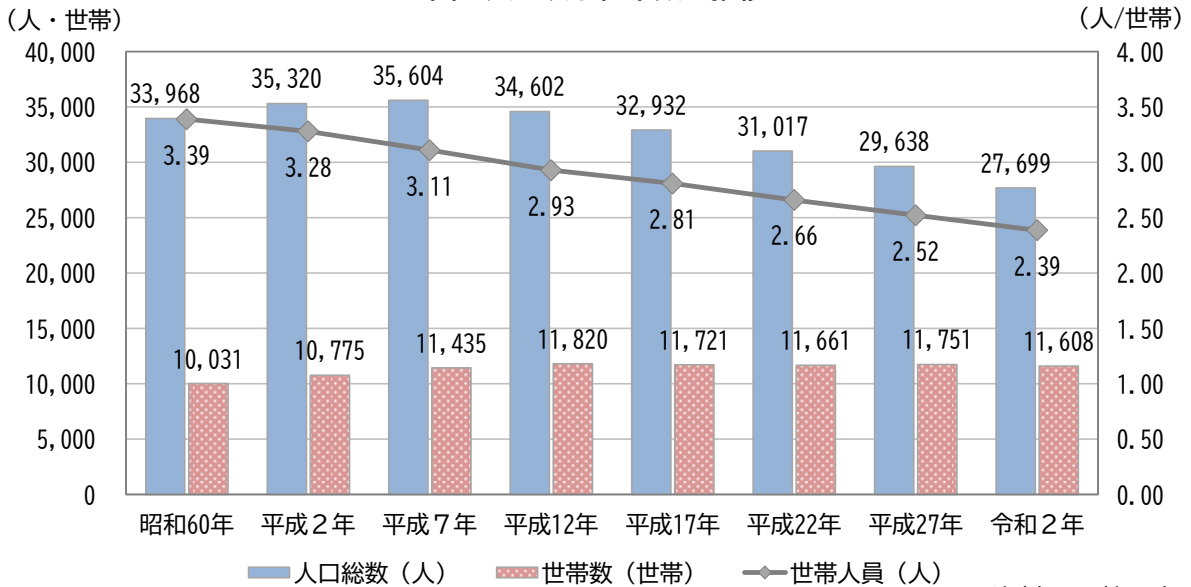
明治以降は、郡役所、税務署、営林署、警察署等が設置され、多賀郡の中心地としての役割を担うようになり、明治 30 (1897) 年の常磐線開通を機に、古くからの木材や馬の産地としてだけでなく石炭産業のまちとして発展をみせ、昭和 29 (1954) 年 11 月 23 日に高萩町、松岡町、高岡村の 2 町 1 村及び黒前村と櫛形村の一部が合併し、現在の高萩市となっています。

2. 人口

(1) 人口及び世帯数の推移

本市の人口は、平成7(1995)年の35,604人をピークに減少し、令和2(2020)年には27,699人となっています。また、世帯数については、平成12(2000)年の11,820世帯をピークに減少し、令和2(2020)年には11,608世帯となっています。

図一人口及び世帯数の推移

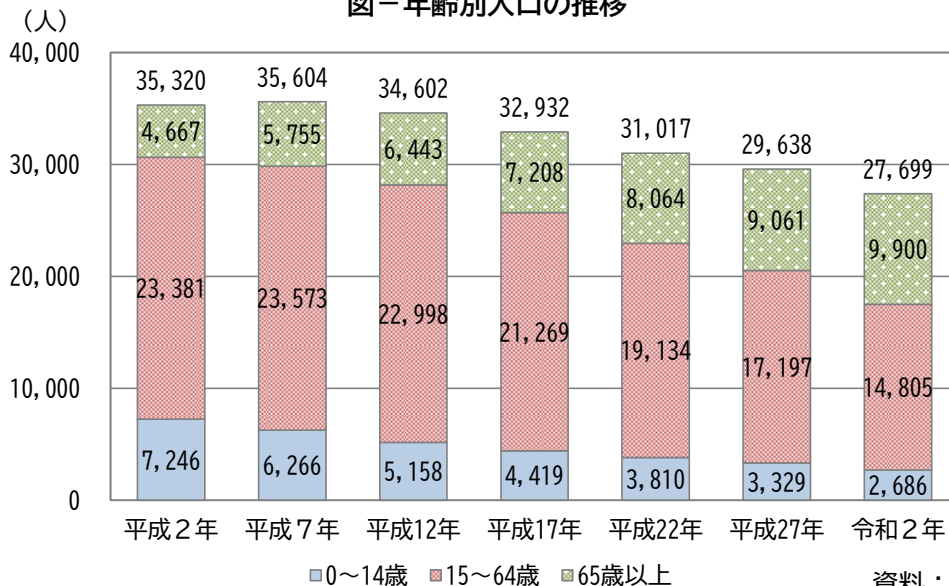


資料：国勢調査

(2) 年齢別人口の推移

年齢別人口を見ると、65歳以上人口の高齢者人口が平成2(1990)年の4,667人(13.2%)から令和2(2020)年には9,900人(35.7%)に増加しているのに対し、0~14歳、15~64歳の人口は減少しており、少子高齢化が顕著となっています。

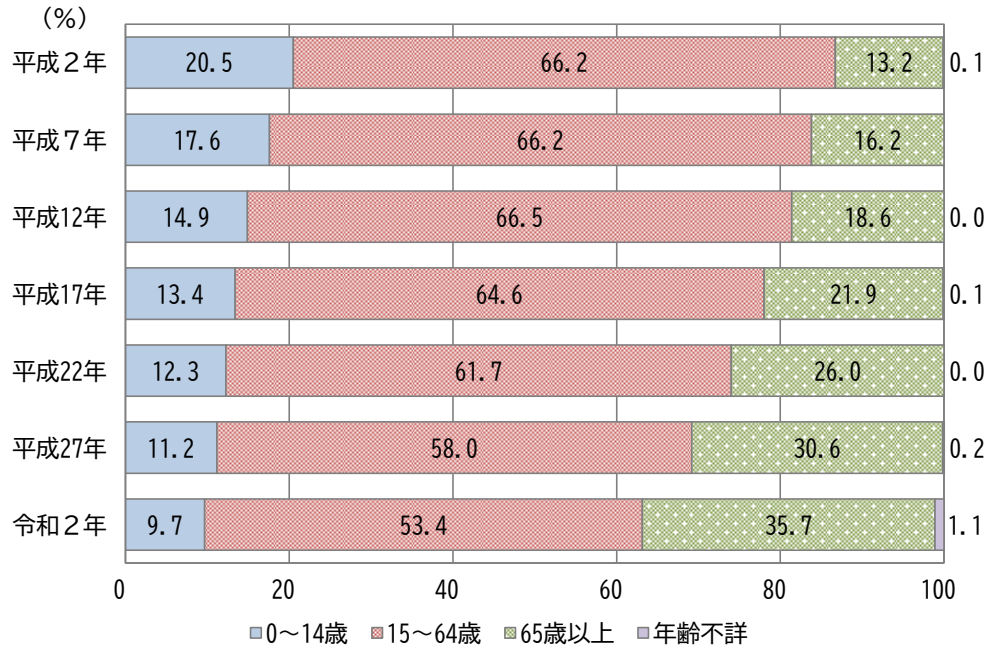
図一年齢別人口の推移



資料：国勢調査



図－3 区分別年齢構成の推移

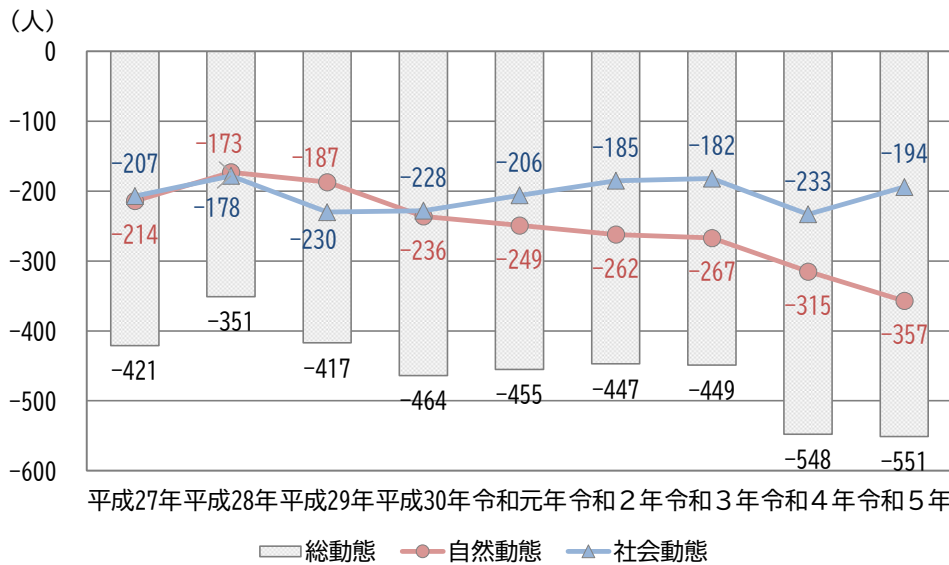


資料：国勢調査

(3) 人口動態

本市の出生・死亡の状況（自然動態）をみると、自然動態、社会動態とも減少を示しており、特に自然動態については、減少数が拡大しています。

図－人口動態



資料：国勢調査

(4) 町丁字別人口

町丁字別人口をみると、下君田や上君田などの山間部の集落で人口減少率が高くなっている他、高浜町、本町、大和町など、常磐線以東や駅周辺の地区でも人口減少率が高くなっています。一方、石滝、上手綱、下手綱などの人口減少率は低くなっています。

表－町丁字別人口の増減

町丁字名	平成 22 年	令和 2 年	減少率
本町	1,324	1,083	81.8%
大和町	623	507	81.4%
春日町	331	290	87.6%
高浜町	2,388	1,926	80.7%
有明町	1,353	1,210	89.4%
肥前町	566	479	84.6%
東本町	714	612	85.7%
高萩	2,374	2,159	90.9%
安良川	3,667	3,424	93.4%
石滝	958	927	96.8%
島名	4,938	4,535	91.8%
秋山	2,022	1,650	81.6%
高戸	1,313	1,166	88.8%
赤浜	656	510	77.7%
下手綱	3,156	2,973	94.2%
望海	20	18	90.0%
上手綱	3,850	3,703	96.2%
横川	90	49	54.4%
下君田	146	94	64.4%
上君田	208	143	68.8%
若栗	85	66	77.6%
大能	75	53	70.7%
中戸川	138	109	79.0%
福平	22	13	59.1%
計	31,017	27,699	89.3%

資料：国勢調査

(5) 人口集中地区（D I D）

平成 12(2000)年から令和(2020)2年までのD I D地区の変化をみると、島名地区のD I Dが消滅し、高萩駅周辺においてもD I Dが消滅し、D I D内の人口は 15,751 人から 7,321 人に減少、面積は 3.8 km²から 2.8 km²に減少しています。総人口に占めるD I D人口割合も、45.5%から 26.4%に低下しており、人口が集中していた市街地の空洞化が窺えます。



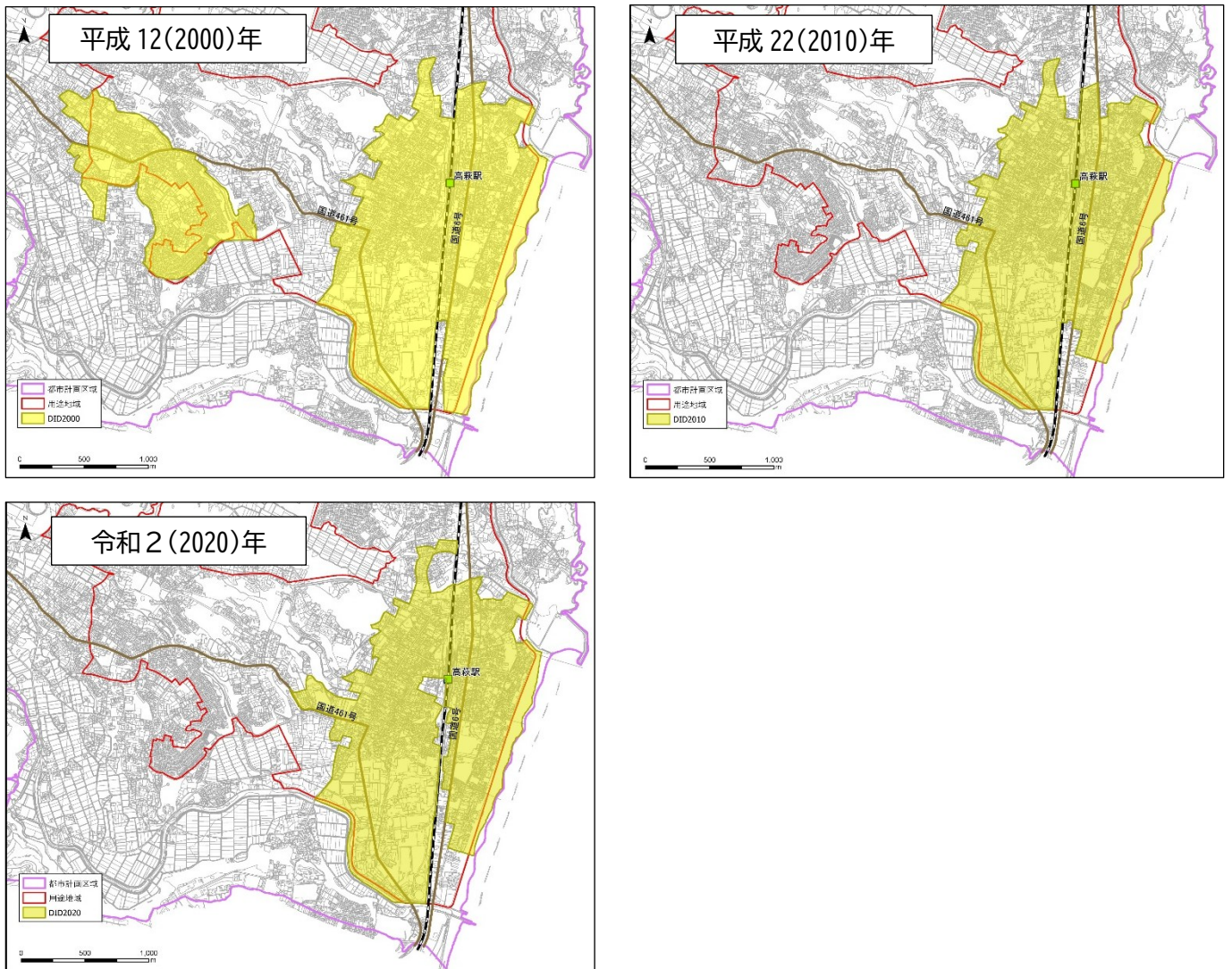
表一人口集中地区（D I D）の推移

年度	総人口	D I D地区（人口集中地区）			総人口に占める D I D人口割合
		人口	面積	人口密度	
平成 12 年	34,602 人	15,751 人	3.8 km ²	4,167 人/km ²	45.5%
平成 17 年	32,932 人	9,298 人	2.7 km ²	3,431 人/km ²	28.5%
平成 22 年	31,017 人	8,441 人	2.7 km ²	3,126 人/km ²	27.2%
平成 27 年	29,638 人	8,010 人	2.7 km ²	2,923 人/km ²	27.0%
令和 2 年	27,699 人	7,321 人	2.8 km ²	2,653 人/km ²	26.4%

資料：国勢調査

※D I D地区：「人口集中地区」と同じ、国勢調査基本単位区を基礎単位として、1）原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境域内で互いに隣接して、2）それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域。

図一D I D地区の変遷



3. 都市計画

(1) 土地利用規制

都市計画法による土地利用規制をみると、都市計画区域は、概ね常磐自動車道以東に指定され、行政区域の 10.3% (2,864ha) となっています。用途地域は 837ha で都市計画区域の 3.0% となっています。

表－土地利用規制一覧

区 分	面積(ha)	構成比 (行政区域)	構成比 (都市計画区域)
行政区域	27,699	100.0%	—
都市計画区域外	24,835	89.7%	—
都市計画区域	2,864	10.3%	100.0%
用途地域	837	3.0%	29.2%
白地	2,027	7.3%	70.8%

資料：令和4年度 都市計画基礎調査

(2) 立地適正化計画

① 居住誘導区域

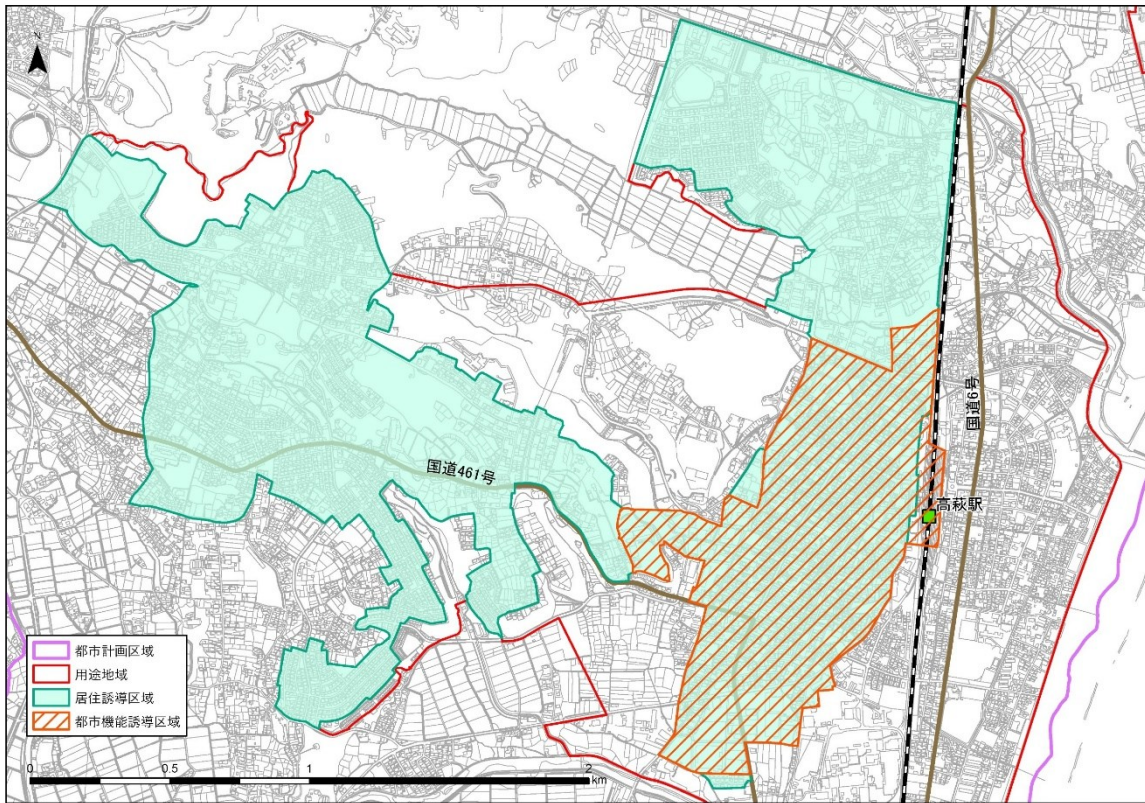
居住誘導区域については、拠点性のある地区や、生活利便施設への利便性が高い地区として、高萩市街地の用途地域及びてつな団地（グリーンタウンてつな）に設定しています。

表－居住誘導区域一覧

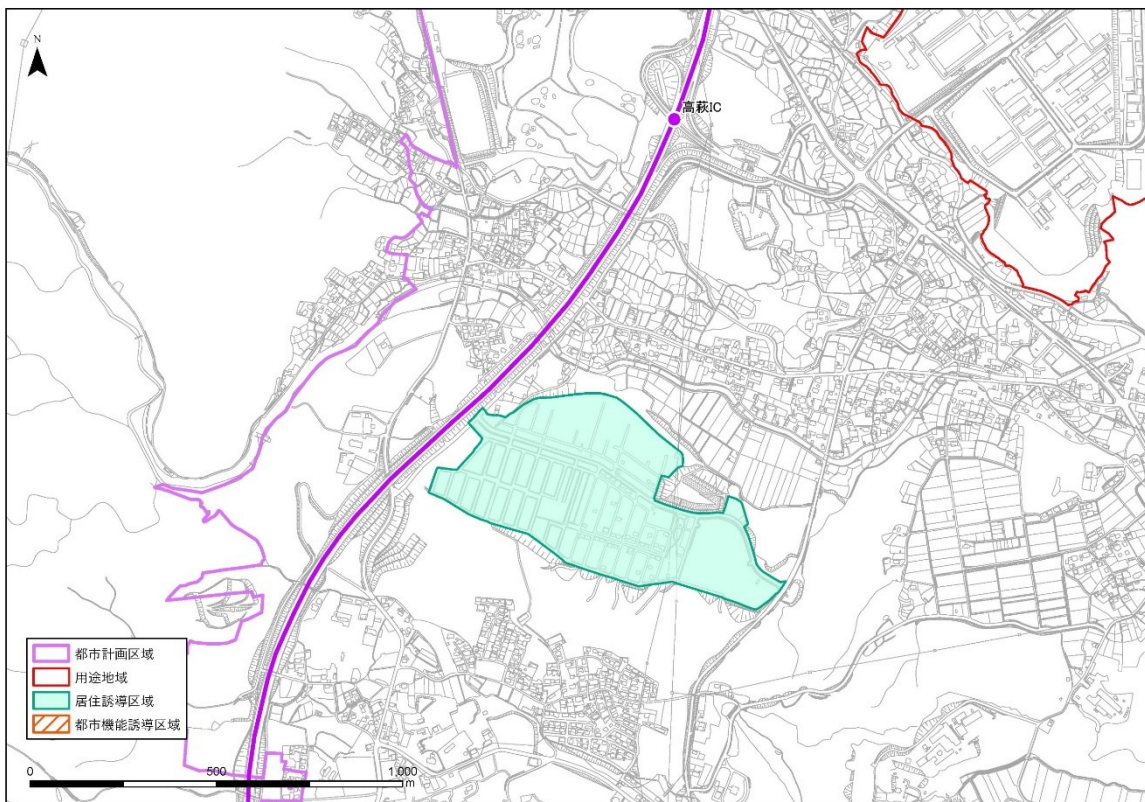
区域	面積(ha)	居住誘導区域内 人口(人)	人口密度(非可住地除外) (人/ha)
居住誘導区域	358.2	5,503	16.66
うち 高萩市街地	330.3	5,457	18.05
うち てつな団地	27.9	46	1.63

資料：高萩市立地適正化計画 (R6 年)

図一 居住誘導区域（高萩市街地）



図二 居住誘導区域（てつな団地）





②都市機能誘導区域

都市機能誘導区域については、JR 高萩駅西側の市街地について、都市機能の分布などを考慮し 93.7ha を指定しています。

図一 都市機能誘導区域



I - 2 バリアフリーに関する市民意向

1. 市民意向調査の概要

対 象	実施概要
市 民	<ul style="list-style-type: none"> ◆調査期間：令和 7 (2025) 年 8 月 7 日 (木) ～ 8 月 22 日 (金) ◆調査対象者：16 歳以上の住民を無作為抽出(令和 7 (2025) 年 6 月 1 日現在) ◆調査方法：郵送による配布、郵送及び Web による回収 ◆回収率：27.95% (配布 2,000 件、有効回答 559 件→郵送 446 件、Web113 件)
中学生	<ul style="list-style-type: none"> ◆調査期間：令和 7 (2025) 年 8 月 1 日 (金) ～ 8 月 31 日 (日) ◆調査対象者：市内の中学生 ◆調査方法：学校貸与タブレットにて回答 ◆回収率：25.77% (配布 555 件、有効回収 143 件)

2. 意向調査結果

※意向調査結果の概要は、資料編を参照してください。

■移動手段の確保は、高齢者だけでなく若年層にも必要とされています。

- 移動の円滑化に向けては、高齢者だけでなく若年層も考慮する必要があります。若い世代は、高萩駅やバスターミナル・バス停、コンビニエンスストアなどの利用が多くなっています。また、総合福祉センターは高齢者だけでなく 10 歳代の利用も見られます。
- 70 歳代以上になると、ケガ・病気、加齢などによって移動の制約が多くなる傾向があります。

■バリアフリーの満足度は、建物で高いものの道路や公園で低くなっています。

- 商業施設や公共施設(市役所等)、高萩駅の満足度が高い一方で、道路、公園については、満足度が低くなっています。
- ベンチや休憩スペースの不足については、高萩駅や駅前広場、バスターミナルで多く指摘されています。
- 高萩駅や駅前広場については、トイレや通行幅、段差や凹凸、こ線橋のバリアフリー化など、全体的な改善が求められています。
- 道路については段差や凹凸、通行幅。公園についてはトイレの使いにくさ、ベンチ等の休憩スペースがないことが指摘されています。

■自転車に対する交通ルールやマナーの啓発が必要です。

- 若年層を中心に自転車に乗っている際に危険な体験を有しています。中学生では 5 割、20～30 歳代でも 2 割程度があると回答しています。一方、車を運転している際の危険な体験については、5 割近くがあると回答しており、自転車の交通ルールやマナーのほか、道路環境などの要因が指摘されています。



■支援をする際には、双方向でのコミュニケーションが重要です。

○回答者の2割が支援を必要とする方が困っている場面を見かけた経験があり、そのうち6割が手助けした経験を持っていますが、「どのように手助けしたらいいかわからない」、「手助けしていいのかわからない」などの理由で支援しなかったという意見もあり、支援を必要とする人とのコミュニケーションのあり方についての啓発が必要です。

■医療・福祉や安全・安心、生活利便性が確保されたまちが望まれています。

○将来像については、医療施設や福祉施設の充実、高齢者等が元気で安心して暮らせるまち、交通事故や犯罪が少ないまち、災害に強い安全・安心なまち、商店や飲食店が多い便利なまちなどが多くなっています。

■高萩駅周辺の賑わいづくり、人口減少、移動利便性、防災・減災に対する施策が望まれています。

○下水道や公共施設についての満足度が高い一方で、高萩駅や市街地の賑わいづくり、空き家・空き地に対する取り組み、高萩駅周辺の整備、路線バスの利便性の向上、地震や風水害などの災害に対する備えなどが求められています。

I-3 関係団体ヒアリング

1. ヒアリングの概要

(1) ヒアリングの対象

対 象		人数	日 時
交通事業者	茨城交通	1名	9月3日(水)
	東タクシー	1名	9月26日(金)
観光事業者	(一社)高萩市観光協会	3名	9月3日(水)
高齢者団体	高萩のぞみ大学	4名	9月12日(金)
障がい者団体	手をつなぐ育成会	3名	9月26日(金)
交通安全	高萩地区交通安全協会 高萩支部	3名	9月22日(月)
若年層	はたちの集い実行委員会	2名	9月26日(金)

(2) ヒアリング項目

高萩市の現状について

・最近感じていること、これからの10年で懸念されることなど

高萩駅や高萩市役所、総合福祉センター周辺のバリアフリー環境について

・移動利便性（バリアフリー、公共交通利便性など）や危険箇所など

移動に支援を必要とする方に対して期待される取組

・段差の解消や案内の充実、ソフト面での対応が必要なことなど

これからの都市計画やまちづくりに必要な取組

・市街地の活性化、居住環境の整備、産業の誘致、安全安心に関することなど

その他

2. ヒアリングのまとめ

□高萩市の現状について

○公共交通の維持や利便性向上、人口減少と高齢化が進行する中でのまちづくりのあり方、コミュニティの維持・活性化、観光振興のための情報発信や観光拠点との連携などの必要性が指摘されています。

〔公共交通〕

○公共交通については、利用者の減少だけでなく運転手の確保も課題となっています。

〔交通事業者〕

○のりもの導入を機に、公共交通に対する高萩市の意識が高まっていることが指摘されています。〔交通事業者〕

〔人口減少・高齢化〕

○人口減少と出生数の減少が深刻で、ライフラインの老朽化、小学校の統合や駅前商店街の空洞化、空き家の管理や防犯対策が課題として指摘されています。また、地域コミュニティが希薄化する中で、防犯灯の維持や消防団の確保なども課題となっています。

〔高齢者団体、交通安全協会〕

○人口減少や高齢化に対応するため、若い人が定住するための就職先の確保、高齢者の引きこもり対策や、元気な高齢者の力を活用する仕組みの必要性についての意見が示されています。〔高齢者団体、交通安全協会〕

〔市街地〕

○駅周辺の賑わいづくりや夜間の明るさの確保とともに、障がい者が自由に活動できる場所の整備が望まれています。〔若年層、障がい者団体〕

○市の施設を市街地の中に配置することで、高齢者向けサービスの利便性向上と市街地の活性化が図れるのではないかと。また、娯楽や買い物の場所が少ないため、近隣市への流出を防ぐには施設の誘致が必要という意見が示されています。〔高齢者団体、障がい者団体〕

〔観光〕

○観光分野では、インフラのバリアフリーは概ね問題ないものの、観光案内板の改善（外国語表記、名所案内）による情報のバリアフリーも重要という指摘があります。

〔観光事業者、若年層〕

○また、市の観光戦略との整合を考慮しながら、駅や観光資源との連携を強化する必要性も指摘されています。〔観光事業者〕



□高萩駅や高萩市役所、総合福祉センター周辺のバリアフリー環境について

○バスなどの公共交通の利用が多い、バスターミナル・バス停、高萩駅周辺のバリアフリー環境の改善の必要性が指摘されるとともに、バリアフリー化にはハード面の整備だけでは不十分で、ソフト面の取り組みが必要であることも指摘されています。

○バスターミナル・バス停については、案内表示の不備・破損が指摘されています。また、バリアフリーの視点では、島状のバス乗り場の改善についての意見が示されています。

〔交通事業者〕

○高萩駅周辺については、高萩駅前の赤水の銅像周辺の歩道の老朽化への対応、東口の活性化策の必要性の他、跨線橋の階段が高齢者に負担であることも指摘されています。〔高齢者団体〕

○高萩駅、イオン、カインズ・ベイシア、福祉センター、協同病院周辺でのバス利用が多くなっています。また、のるるについては、利便性の向上や運行範囲の拡大が望まれています。

〔交通事業者、高齢者団体、障がい者団体、交通安全協会〕

○公共交通からの乗降については、車椅子利用者は、乗降の際に運転手だけでなく乗客の支援が不可欠であること、市街地内では道路の縁石の高さ、商業施設内での車と人の動線の適正化について課題が指摘されています。〔交通事業者、障がい者団体〕

○公共施設については、福祉センターや市庁舎の駐車場における歩行者と車両の動線分離が不十分であることが指摘されているとともに、シニアカー利用者のための配慮が必要という意見が示されています。〔障がい者団体、若年層〕

○バリアフリー対策は、ハード面だけでなく、市民への心のバリアフリー意識の啓発が重要であるという意見が示されています。〔交通事業者〕

○外国人観光客への対応として、英語表記のサイン、駅からのタクシー利用を容易にする必要性についての意見が示されています。〔観光事業者〕

○その他に、自転車利用者のヘルメット着用啓発、スクールゾーンの安全対策、障害者用駐車場の改善（スロープ乗降スペースの確保）、津波避難時の課題、タクシー運転手による介助に関する問題点（クレームへの懸念）などが指摘されています。〔交通事業者、障がい者団体〕

□移動に支援を必要とする方に対して期待される取組

○支援を必要とする人と支援する人のコミュニケーションの重要性が指摘され、バリアフリーなどについて学ぶ機会の必要性が指摘されています。また、車が移動の中心である地域特性、個人店舗の現状などに配慮したバリアフリーのあり方、外国人観光客に向けたバリアフリーの取り組みなどに関する意見も示されています。

○高齢者や障がい者の支援については、支援を必要とする人が、支援を求める意思を理解することが重要であること、バリアフリー推進のための教育や学びの機会が必要であることが指摘されています。〔障がい者団体、若年層〕

○障がい者の支援には継続的な関わりが必要であり、障がい者をはじめとして支援を必要とする方に対する理解を促進する必要があります。〔障がい者団体〕

- 公共交通については、車での移動が中心の地域であるため公共交通による移動は難しく（需要は限定的）、介護タクシーの運営も難しいことが指摘されています。〔交通事業者〕
- 市内の個人店については、店舗スペースが狭くバリアフリー化が難しいことや、日本語表記のみのため、外国人観光客にとって入りづらい可能性があることが指摘されています。
〔観光事業者〕
- 観光客への対応については、市民が観光名所や名物を案内できるような意識づけが必要であり、学校教育でも観光についての学びの必要性や、観光案内所が駅周辺にあることで、バリアフリーの支援にも寄与できるという意見が示されています。〔観光事業者〕

□これからの都市計画やまちづくりに必要な取組

○本市が持つ自然環境などの活用による地域活性化、移住促進、観光交流の充実が求められている一方で、人口減少や高齢化が進む中で、医療・福祉環境など生活に不可欠な機能の維持、本市の移動手段として浸透しているのるるの利便性向上などが期待されています。

- 高萩市の自然環境を生かした移住促進策や、地域の魅力発信に取り組むなど、地域の活性化と移住促進の充実・強化が望まれています。〔各団体〕
- 本市の観光資源を活用した観光交流の促進、地域の活性化を推進するため、他地域に先駆けた魅力の創出、観光協会以外の組織との連携強化が求められています。〔観光事業者〕
- 市内の医療機関は、医師の高齢化や診療科目の減少が進んでいます。福祉施設についても健康な人だけが利用できる状態ではないかという指摘もあり、医療・福祉環境の整備が必要となっています。〔高齢者団体〕
- のるるについては、市と国による事業や高校や病院、商業施設と連携した 4 コマ漫画を作成するなど、利用促進に向けた啓発を行っているほか、運行時間を延長や運行範囲の拡大を行ったことにより利用者が増加しており、引き続き、利用促進と利便性向上が期待されています。
〔交通事業者、高齢者団体、交通安全協会、障がい者団体〕



第Ⅱ章 移動等円滑化の基本的な考え方

Ⅱ-1 まちの点検（まち歩き）

1. 実施概要

(1) 開催日

令和7(2025)年11月21日(金)

(2) 目的

○バリアフリーマスタープランの策定にあたり、JR高萩駅を中心とする区域（移動等円滑化促進区域(案)）のバリアフリー環境の実態を把握するとともに、車椅子での移動体験などを通じ、移動等に支援が必要な方に対する理解を醸成することを目的として開催しました。

(3) 実施場所

○移動等の円滑化を図ることが期待されるJR高萩駅周辺において実施し、以下のような点についてのバリアフリー環境の点検を行いました。

〔主な点検ポイント〕

①道路の段差の状況

- 縁石による段差の状況
- 車いすでの移動体験

②歩道上の障害の確認

- 看板やノボリなどによる障害
- 点字ブロックの状況
- 歩行者スペースの状況

③JR高萩駅前の状況確認

- 駅から他の交通手段への乗り換えの利便性、バリアフリー環境
- バスターミナルやタクシー乗り場の状況



車椅子体験①



車椅子体験②



車椅子での設備利用体験
(自動販売機)





こ線橋のスロープ体験



横断歩道の段差体験



車椅子でのバス乗車体験



2. バリアフリー点検の結果

◆Aグループ 《茨城大学、熊澤委員長含め計4名》

項目	視点	記入欄
①道路の段差の状況	<input type="checkbox"/> 縁石による段差の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・路面の材料が複雑。滑りやすい素材がある。
	<input type="checkbox"/> 車いすでの移動体験	<ul style="list-style-type: none"> ・信号の目盛りがあると安心できた。 ・お店の扉が自動であってほしい。 ・排水溝と歩道に段差がある。 ・歩道に店の看板があり、歩きにくい。 ・歩道内の傾斜が歩きにくい。 ・道路中心の起伏がやや激しい。 ・車いすのタイヤよりも蓋の穴が広い側溝が怖かった。
②歩道上の障害の確認	<input type="checkbox"/> 看板やノボリなどによる障害	<ul style="list-style-type: none"> ・サインボードがわかりにくい。多言語対応がない。 ・歩道にお店の看板が飛び出ていると、歩行者の妨げになってしまう。 ・魚民の光る看板のひもにカバーがされていたため、つまり心配がなく、良かった。
	<input type="checkbox"/> 点字ブロックの状況	<ul style="list-style-type: none"> ・色が地面と同化していて見づらい。 ・途中、よくわからない所で切れていた。常陽銀行の辺り。 ・点字ブロックの色が見にくい。点字ブロックがつながっていない。 ・点字ブロックの損傷あり。つまりきやすい。
	<input type="checkbox"/> 歩行者スペースの状況	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道のブロックレンガが部分的に壊れてしまっていた。 ・電線地中化は良いけれど、地下には埋設物がういている所がある。 ・駅からの歩道が、道路側に傾いてしまっていて、車いすでは危険。 ・車椅子利用者の目線だと、歩道にかなりの凸凹が確認できた。 ・矢印のような、曲がった境界に、車輪が引っかかる。
③JR高萩駅前の状況確認	<input type="checkbox"/> 駅から他の交通手段への乗り換えの利便性、バリアフリー環境	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすの人から切符の画面を見ると暗くて操作しづらかった。 ・バスの待合場所がほしい。 ・車椅子利用者向けのトイレがない。 ・横断歩道前の歩道の傾斜が急だった。上りづらい・下りはスピードが出る。 ・駅前の観光案内板が見づらくてもったいない！ ・駅前の横断歩道に信号がないため、渡りづらい。(特に車椅子の方は大変)
	<input type="checkbox"/> バスターミナルやタクシー乗り場の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「バスのりばのご案内」の色が少ない、割れている。 →見づらい。 ・車いすのスロープはバスの中央からしか出せないなので、車いす利用の時は、バスを前に出す必要がある。 ・バス乗降場が危険

◆Aグループの作業の様子



◆Bグループ 《高齢者大学、障がい者団体、子育て世代計5名》

項目	視 点	記 入 欄
①道路の段差の状況	□縁石による段差の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの場所もスムーズでない。少しの段差でも介助者が必要である。 ・車道から歩道へ移行する際の段差が気になった。 ・レンガ歩道とアスファルト舗装に移行する際の段差が気になった。 ・歩きではあまり感じない坂道がある。(ベビーカー、車イスで初めて感じた)【歩道】 ・駅前通りにはあるが、少し離れるとなくなる【点字ブロック】 ・横断歩道を渡り終えたところの段差でひっかかると危険 ・除草してほしい。(歩きやすさ・景観)【全体】 ・【ベビーカー歩道】移動できない箇所はないが、道路と歩道のつなぎ目や歩道と横断歩道のつなぎ目がひっかかる。
	□車いすでの移動体験	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道が斜面等の場合は、片方の車輪が浮いて操作が困難な箇所がある。 ・【車いす】横断歩道におりる所が少し坂になっているので、車道にでてしまいそうで危ない。歩道も多少上り下りの坂がある。 ・【車イス】ちょっとした段差で上がれない。階段はもちろん、お店に入れない。
②歩道上の障害の確認	□看板やノボリなどによる障害	<ul style="list-style-type: none"> ・車イスでの目線では案内板が見えにくい。 ・駅前の植木の枝が伸びていて、ぶつかりそうです。 ・歩道から銀行への入口が急勾配で、車イスでの入行が困難 ・看板、ノボリ、街路樹の枝が歩道にはみ出ている箇所があった。
	□点字ブロックの状況	<ul style="list-style-type: none"> ・点字ブロックがバス乗り場までない。 ・【点字ブロック】車イスも少し引っかかる。人もつまずきそう。5mmの段差でつまずく。
	□歩行者スペースの状況	<ul style="list-style-type: none"> ・マンホール・グレーチングと歩行面との段差 ・歩道がへこんで波打っている箇所があり、点字ブロックに影響が出ている。 ・駅前から市役所までの歩道はきれい。大通りに面した他の歩道にも、ガードレールのようなものや花があるといい。歩道の幅もせまい気がする。 ・駅前通りについては、特に問題はないのでは。
③J R高萩駅前の状況確認	□駅から他の交通手段への乗り換えの利便性、バリアフリー環境	<ul style="list-style-type: none"> ・駅のトイレ。段差もあり、身障者用のトイレもなかった。 ・高萩駅。ふみ石の凸凹が多く、つまずきそう。 ・駅の外側にもベビーカーが入れるトイレがほしい。 ・【J R高萩駅前】駅を出てすぐの所に移動手段の案内板がほしい(雨の日もじっくり見られる工夫もほしい) ・駅の駐車場から駅まで歩道がない。 ・【J R高萩駅前トイレ】ベビーカーをたたまずに子どもを乗せたままの利用は難しい。 ・【J R高萩駅前案内板】英字表記があった方がよい。大きい文字。車イスでも見やすい高さ。
	□バスターミナルやタクシー乗場の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ノンステップバスの構造がわかった。バスまでの点字ブロックがなかった。 ・バス待合場所が一段高くなっているため、車イスでの乗車が困難。 ・高萩駅のトイレも段差・階段があり、車イスでは入れない。 ・【こせん橋】EVがあるとよいと思う。 ・【こせん橋】ベビーカーや自転車が同じレーンを使ってしまうと、すれ違うことができない。片側が狭くなっていたが、同じ幅がよいと思う。 ・【バス停】のるるの使い方について、初めての方でも分かりやすい案内板があるとよい。 ・【バス停】乗り場の島は残してもよいが、島にスロープが必要 ・バス乗り場を車イスでも使いやすくすると同時に、乗り場を分かりやすくするといいい。臨時のシャトルバスも。

◆Bグループの作業の様子



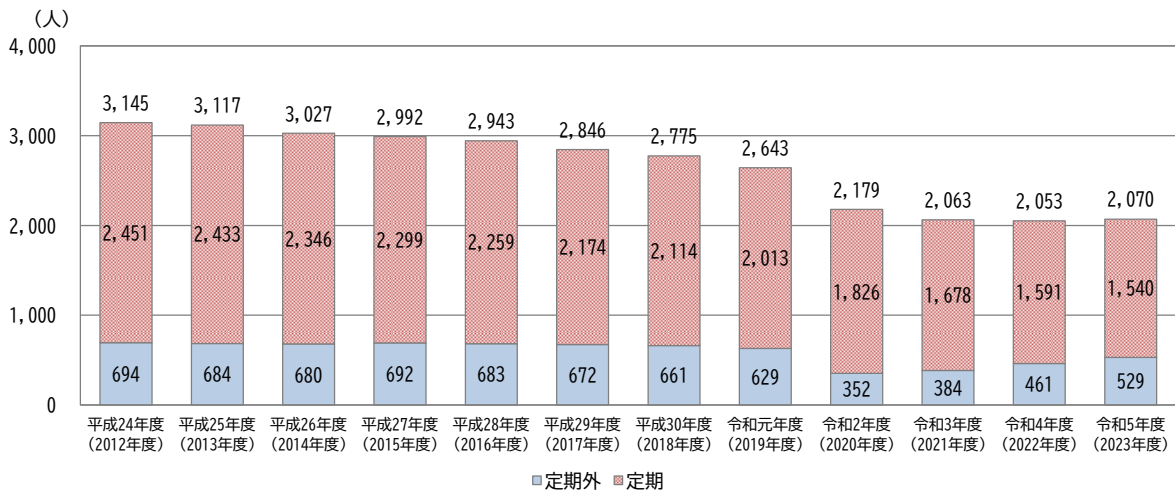
Ⅱ－２ 移動等円滑化に向けた現状

1. 公共交通の状況

(1) JR高萩駅の利用者数

JR高萩駅の1日あたりの乗車人数をみると、徐々に減少を示していましたが、新型コロナウイルス感染症以降は大きく減少し、令和5(2023)年には、定期1,540人、定期外529人、合計2,070人となっています。

図－ JR高萩駅の乗車人数（1日平均）



資料：JR 東日本（各駅の乗車人員）

※乗車人員は乗車の人員のみで、降車の人員等は含まない



(2) 路線バスの状況

市内の路線バスは、令和6(2024)年12月から椎名観光が運行する3路線が休止となっており、茨城交通によりJR高萩駅を中心に4路線運行しています。このうち3路線は路線バスで、1路線は令和4(2022)年10月から市街地循環線に代わり運行している、呼び出し型最適経路バス「My Rideのるる」となっています。

表－路線バス年間利用者の推移

単位：人

路線	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
1 千代田・関口線	44,862	41,526	24,344	21,769	15,251	12,728	10,530
2 和野線	45,356	42,536	30,885	27,786	16,162	12,906	10,698
6 清松高校線	45,257	45,592	34,987	29,498	26,903	28,321	26,927
C1 市街地循環線 (イオン)	2,316	3,217	4,101	4,147	休止	廃止	廃止
C2 市街地循環線 (バイシア)	2,310	2,014	1,724	1,917	休止	廃止	廃止
C3 市街地循環線 (高萩協同病院)	1,460	1,896	2,336	2,482	休止	廃止	廃止
3 上和野線	12,978	13,099	10,450	8,400	8,309	8,791	8,764
4 いぶき台団地線	13,244	13,288	10,471	7,610	7,795	9,041	8,390
5 ソーラーリゾート線	11,291	10,896	7,382	5,431	4,697	4,474	4,246
My Ride のるる					20,088	26,846	25,797
計	179,074	174,064	126,680	109,040	99,205	103,107	95,352

資料：高萩市

※利用者数：前年10月～当該年9月までの集計

※My Ride のるるはR3.10からの実証運行中利用者で集計

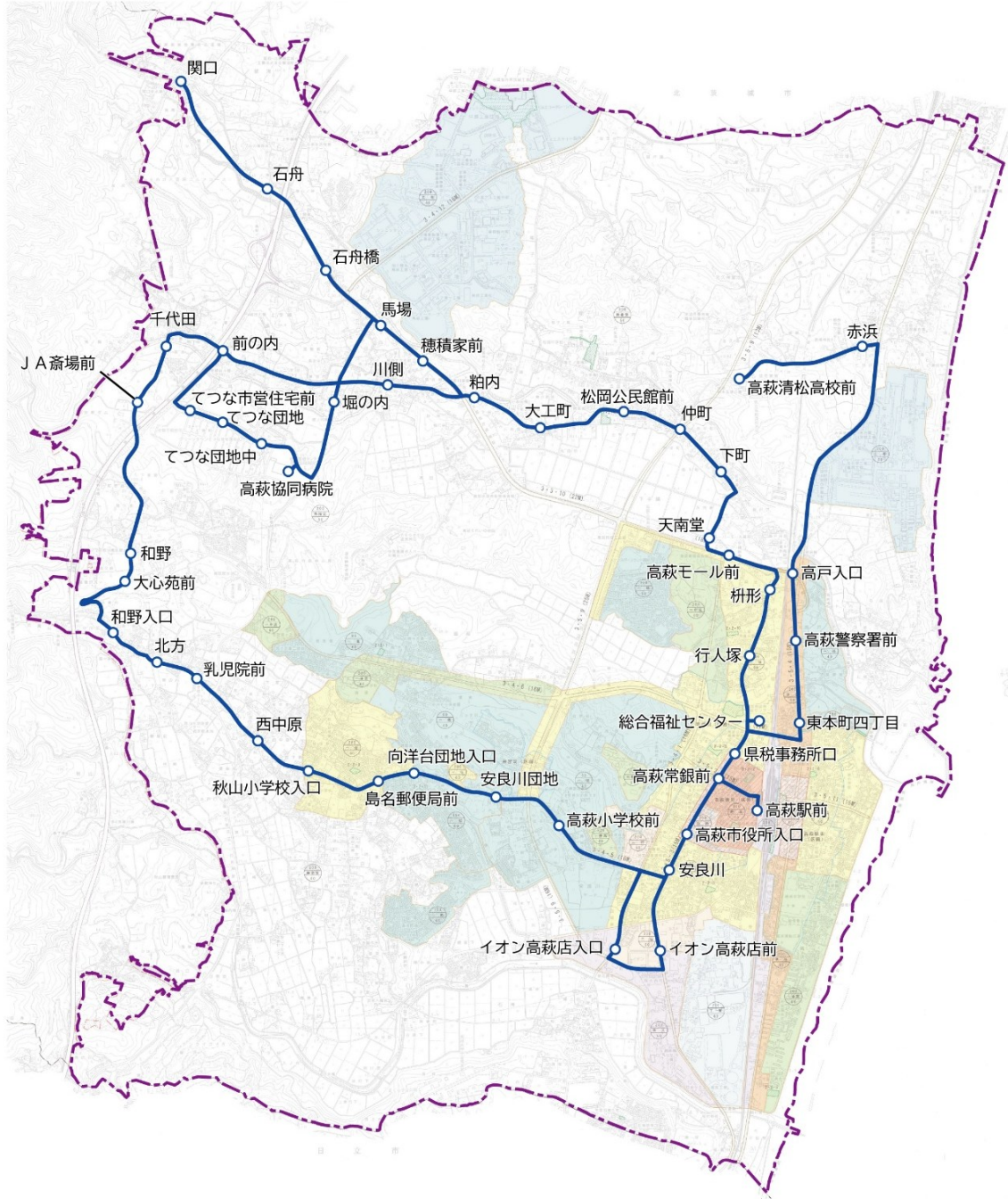
表一 「My Ride のるる」の利用実績の推移

	利用者数	累計 登録者数	月登録者 数	1日当たり 平均利用者数	
				平日	土日祝
R3.7	62	86	86	3.0	—
R3.8	25	118	32	2.0	—
R3.9	94	324	206	5.0	—
R3.10	558	480	156	26.6	—
R3.11	632	624	144	31.6	—
R3.12	704	740	116	35.2	—
計	2,075	740	—	17.2	—
R4.1	1,423	900	160	63.7	23.7
R4.2	1,578	1,050	150	73.6	25.3
R4.3	2,152	1,212	162	84.8	33.2
R4.4	2,052	1,322	110	84.3	36.7
R4.5	1,948	1,421	99	82.8	35.2
R4.6	2,367	1,545	124	95.1	34.4
R4.7	2,212	1,612	67	92.7	32.6
R4.8	2,191	1,726	114	96.6	39.2
R4.9	2,271	1,876	150	95.6	35.9
R4.10	2,534	2,023	147	106.7	36.4
R4.11	2,177	2,115	92	92.1	33.5
R4.12	2,390	2,181	66	97.7	39.6
計	25,295	2,181	—	88.8	33.8
R6.1	1,912	2,981	32	87.7	27.3
R6.2	2,047	3,039	58	90.3	33.1
R6.3	2,070	3,090	51	84.9	33.9
R6.4	2,029	3,152	62	83.0	31.9
R6.5	2,011	3,208	56	78.2	36.8
R6.6	2,222	3,261	53	92.8	36.7
R6.7	2,477	3,337	76	99.4	32.3
R6.8	2,161	3,400	63	96.3	40.3
R6.9	2,069	3,461	61	90.4	31.9
R6.10	2,825	3,532	71	113.5	36.3
R6.11	2,641	3,607	75	113.2	37.7
R6.12	2,742	3,677	70	114.4	41.4
計	27,206	3,677	—	95.3	35.0
R7.1	2,743	3,753	86	125.3	40.3
R7.2	2,958	3,823	70	139.6	44.6
R7.3	3,195	3,901	78	137.2	41.0
R7.4	3,163	3,994	93	130.2	47.6
R7.5	3,088	4,066	72	130.2	44.1
R7.6	3,165	4,131	65	132.4	42.7
計	18,312	4,131	—	132.5	43.4
R5.1	1,980	2,270	89	86.2	28.6
R5.2	2,175	2,328	58	97.8	35.1
R5.3	2,346	2,392	64	94.2	30.4
R5.4	2,255	2,455	63	96.0	33.6
R5.5	2,194	2,516	61	90.4	35.2
R5.6	2,264	2,583	67	90.1	35.3
R5.7	2,201	2,657	74	92.3	32.3
R5.8	2,244	2,721	64	100.1	38.7
R5.9	2,086	2,778	57	88.4	31.8
R5.10	2,327	2,834	56	94.4	34.4
R5.11	2,206	2,900	66	94.8	31.0
R5.12	2,266	2,949	49	91.5	39.6
計	26,544	2,949	—	93.0	33.8

資料：高萩市



図－高萩市内バス路線図

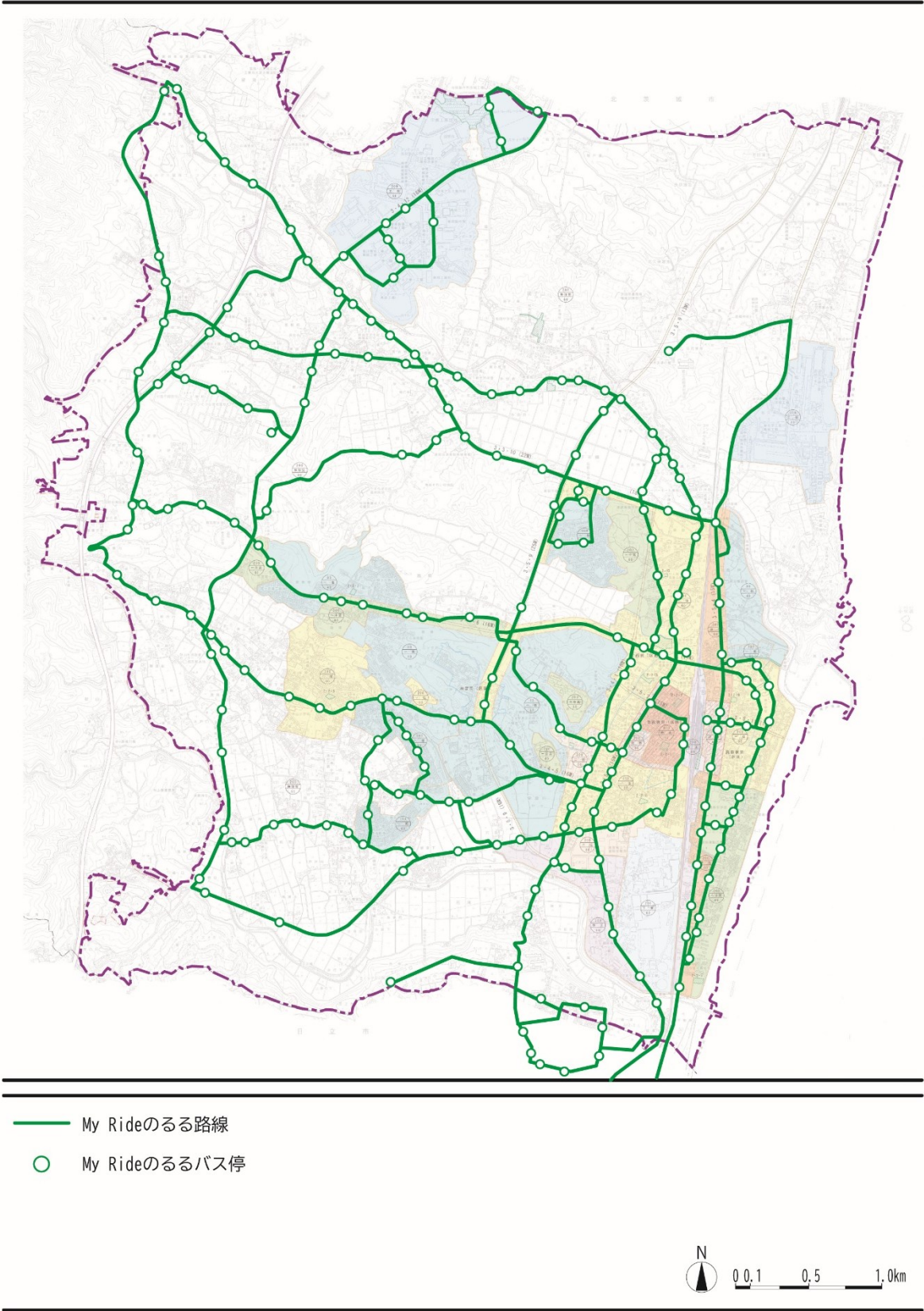


— バス路線

○ バス停

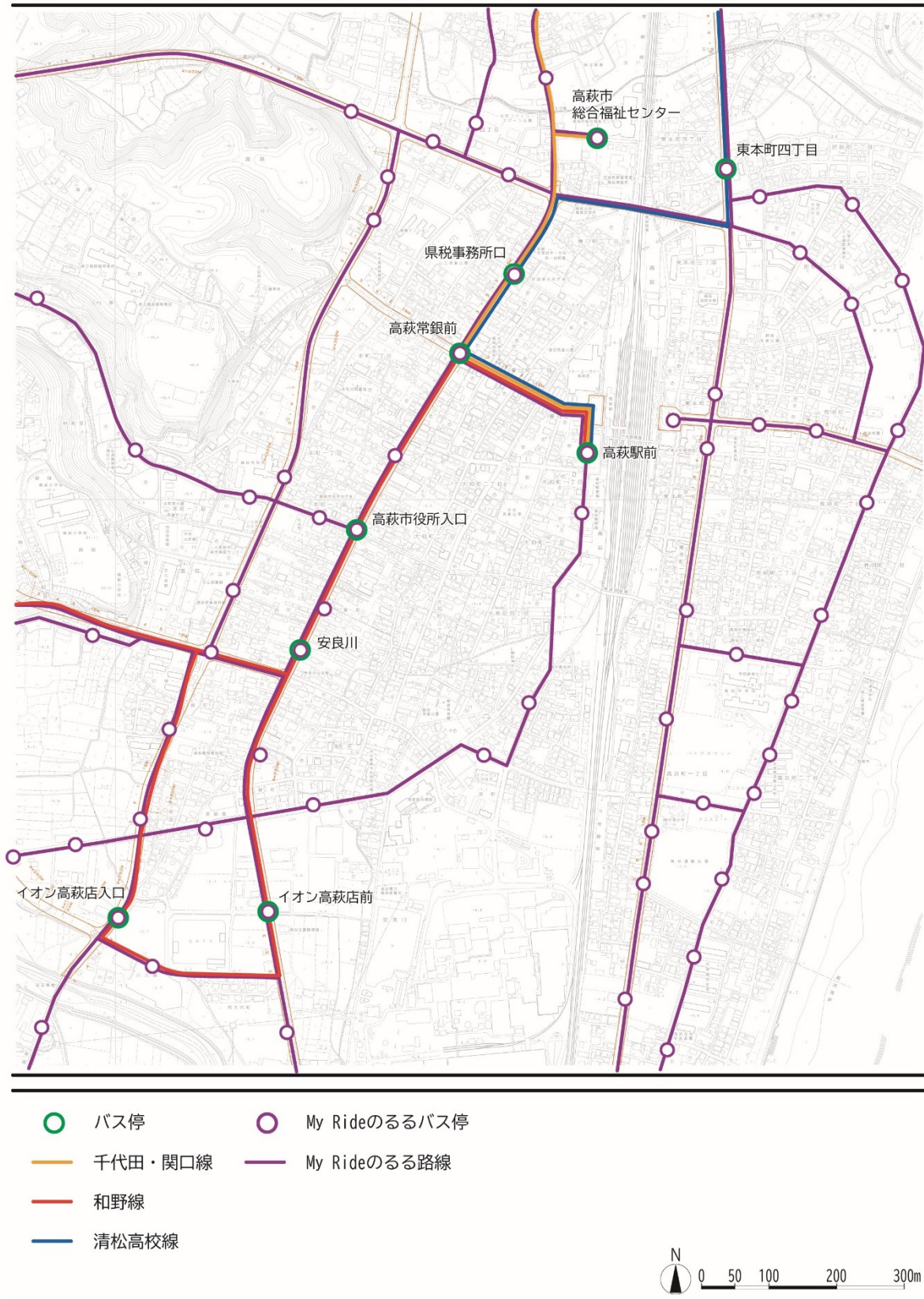


図一 高萩市内バス路線図 (My Ride のるる)





図一 既成市街地内のバス路線及びバス停



2. JR高萩駅周辺の施設の状況

(1) JR高萩駅周辺における都市機能施設の立地

JR高萩駅周辺（概ね1km圏）の都市機能施設（公共施設、教育施設、生活利便施設、医療機関、保育・福祉施設等）の状況をみると、公共施設が9施設、教育施設が4施設、生活利便施設が13施設、医療機関が8施設、保育・福祉施設が5施設立地しています。

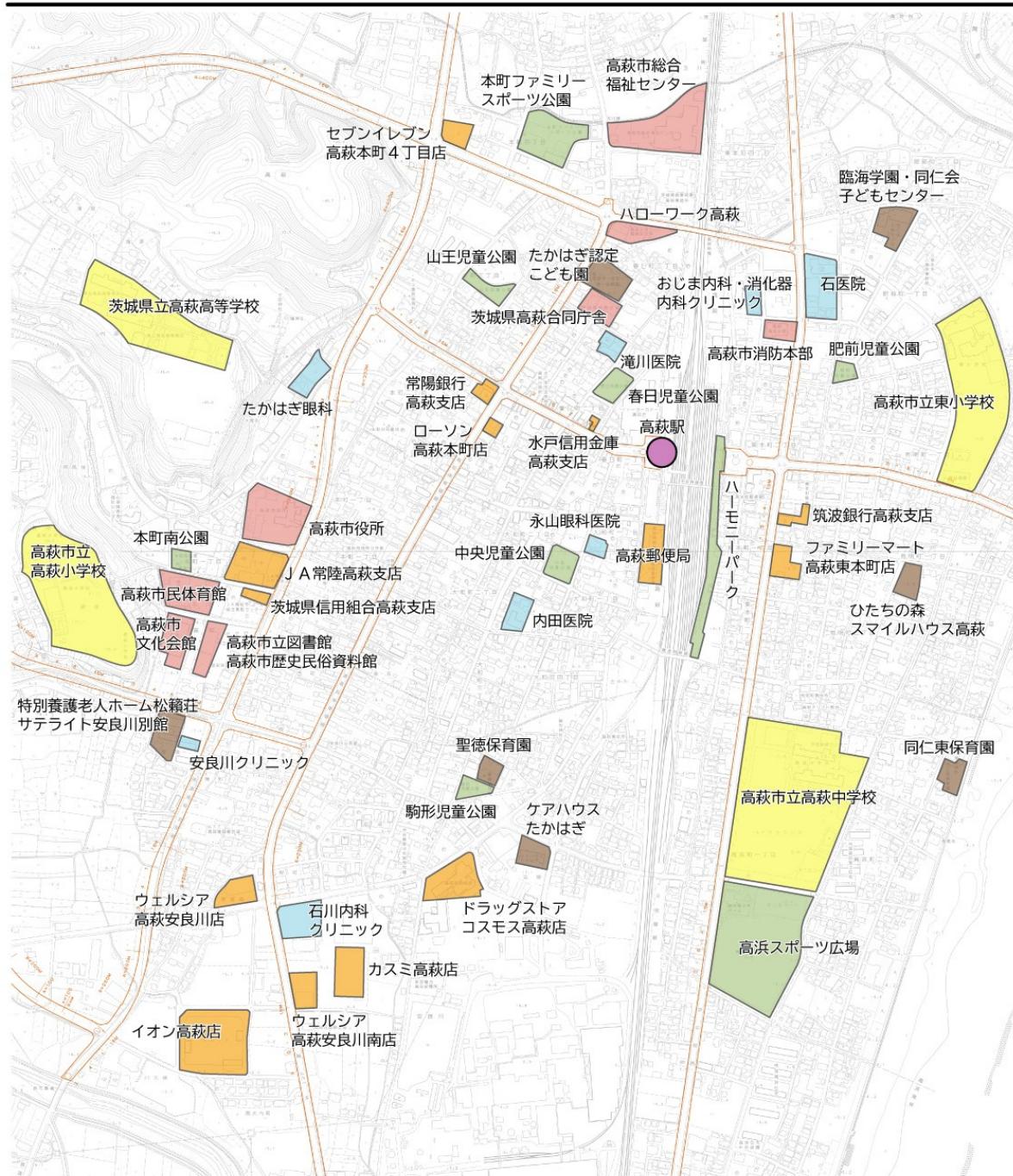
また、イオン高萩店やベイシア高萩モール等の大規模な商業施設は、駅から約1.2～1.5kmに位置しており、徒歩での利用は困難な立地となっています。

表－JR高萩駅周辺の主な都市機能施設一覧

区分	名称	区分	名称
公共施設	高萩市役所	医療機関	石医院
	高萩市民体育館		石川内科クリニック
	高萩市立図書館		内田医院
	高萩市歴史民俗資料館		おじま内科・消化器内科クリニック
	高萩市文化会館		滝川医院
	高萩市総合福祉センター		安良川クリニック
	ハローワーク高萩		たかはぎ眼科
	高萩市消防本部		永山眼科医院
	茨城県高萩合同庁舎	公園等	高浜スポーツ広場
教育施設	高萩市立高萩小学校		本町ファミリースポーツ公園
	高萩市立東小学校		中央児童公園
	高萩市立高萩中学校		肥前児童公園
	茨城県立高萩高等学校		山王児童公園
生活利便施設	高萩郵便局		春日児童公園
	常陽銀行高萩支店		本町南公園
	筑波銀行高萩支店	ハーモニーパーク	
	水戸信用金庫高萩支店	駒形児童公園	
	茨城県信用組合高萩支店	保育・福祉施設	たかはぎ認定こども園
	J A常陸高萩支店		聖徳保育園
	カスミ高萩店		ひたちの森 スマイルハウス高萩
	ウェルシア高萩安良川店		特別養護老人ホーム松籬荘サテライト安良川別館
	ウェルシア高萩安良川南店		ケアハウスたかはぎ
	ドラッグストアコスモス高萩店		
	セブンイレブン高萩本町4丁目店		
	ローソン高萩本町店		
	ファミリーマート高萩東本町店		



図ー主な都市機能施設の立地状況



- | | |
|--|---|
| 公共施設 | 保育・福祉施設 |
| 教育施設 | |
| 生活利便施設 | |
| 医療施設 | |
| 公園等 | |



(2) 都市計画道路の整備状況

都市計画道路の整備状況をみると、JR 高萩駅へのアクセス道路となっている 3・5・2 高萩停車場線、3・5・11 高萩停車場東口線については、駅から主要幹線道路までの区間の整備が概ね完了しています。

また、駅西市街地の南北軸となっている 3・4・1 安良川下手綱線、3・5・3 石滝本町線についても市街地内の整備は概ね完了しています。

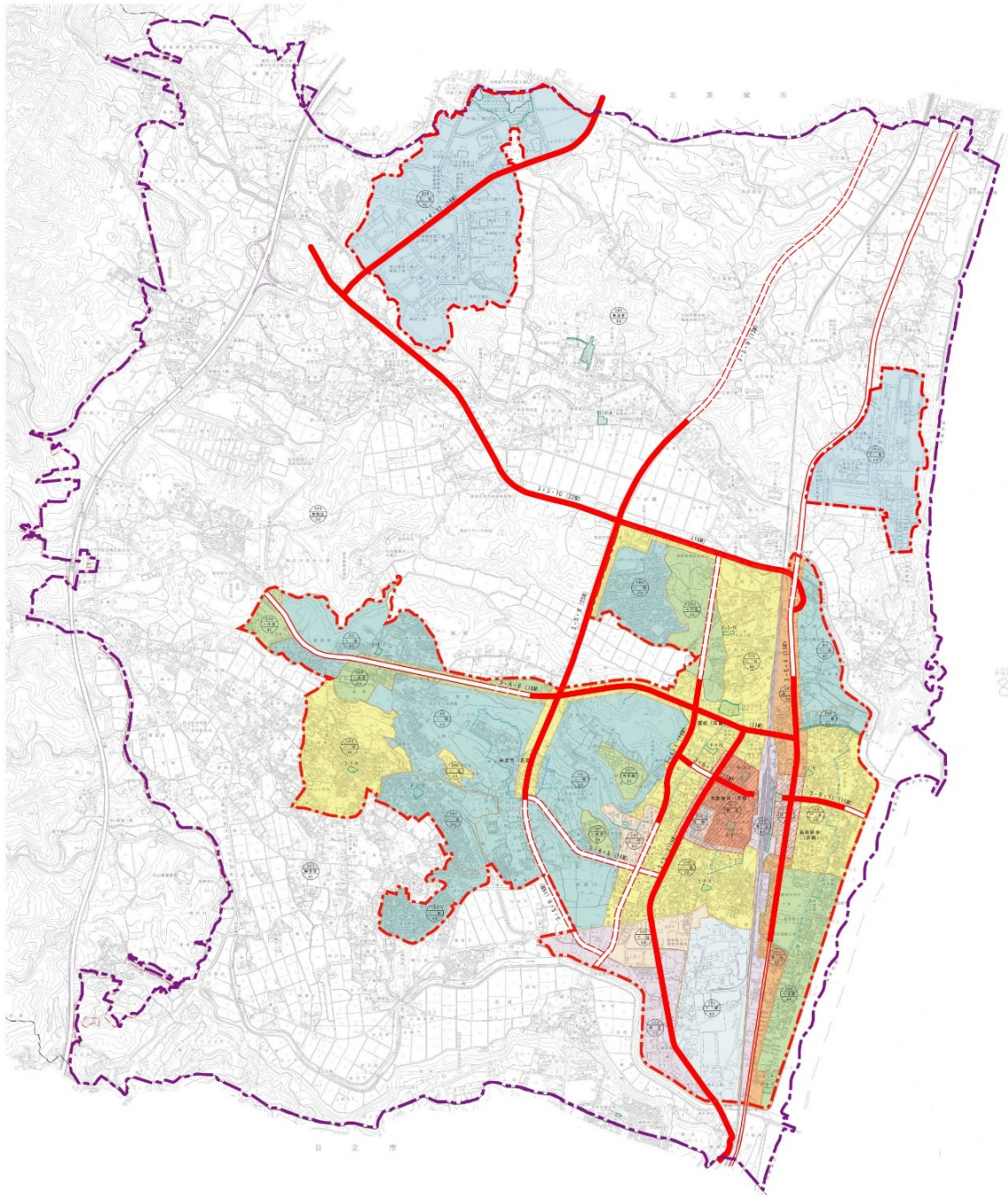
表－都市計画道路の整備状況

番号・施設名	位置	幅員 (m)	延長 (m)		
			計画総延長	うち改良済 (完成)	うち概成済
3・4・1 安良川下手綱線	本町2丁目	16.0	2,700.0	940.0	0.0
3・5・2 高萩停車場線	本町2丁目	15.0	500.0	350.0	0.0
3・5・3 石滝本町線	大字安良川	15.0	2,860.0	2,110.0	0.0
3・5・4 花貫川赤浜線	大字高戸	15.0	6,600.0	1,450.0	5,150.0
3・4・5 安良川線	大字安良川	16.0	1,230.0	120.0	0.0
3・4・6 東本町高萩線	大字高萩	16.0	3,400.0	1,490.0	0.0
3・5・9 安良川赤浜線	大字高萩	25.0・16.0・13.0	5,790.0	2,506.0	0.0
3・3・10 高戸上手綱線	大字上手綱	22.0	3,970.0	3,970.0	0.0
3・5・11 高萩停車場東口線	有明町1丁目	15.0	520.0	380.0	0.0
3・4・12 上手綱赤浜線	大字上手綱	16.0	1,920.0	1,920.0	0.0

資料：令和4年度高萩市都市計画基礎調査



図一 都市計画道路の整備状況



-  都市計画道路(整備済)
-  都市計画道路(暫定)
-  都市計画道路(未整備)



(3) J R高萩駅周辺における都市基盤の状況

①歩 道

J R高萩駅周辺（概ね1 km 圏）の都市基盤の状況をみると、整備済みの都市計画道路等の主要幹線道路には歩道（両側）が設置されていますが、区画道路では歩車の区分がなされていない状況となっています。

②駅前広場及びこ線橋

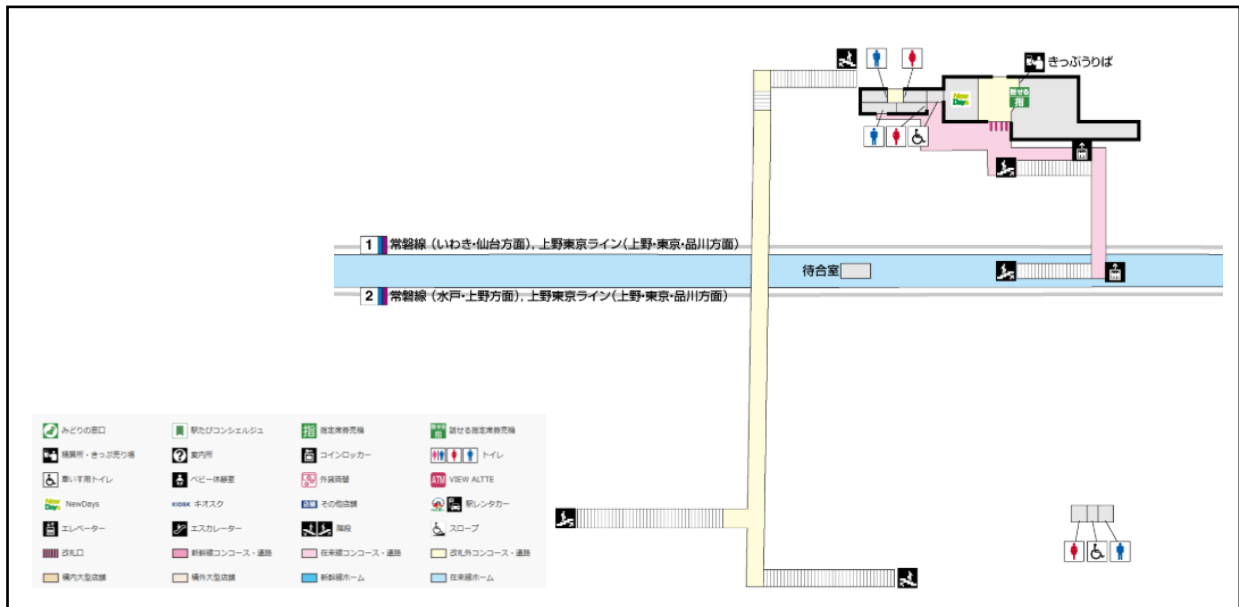
駅前広場は、駅東西にロータリー形式の広場が整備されています。東西とも公衆トイレが設置されている他、駅西駅前広場にはタクシー乗降場が確保されています。

駅舎は駅西側に位置しており、東西の駅前広場をこ線橋によって連携が確保されていますが、エレベーターは設置されていません。

③駅舎・駅構内

J R高萩駅構内のバリアフリー環境については、エレベーター、バリアフリートイレが設置され、シニアカー（ハンドル型電動車椅子）の利用経路も確保されています。

図－高萩駅構内図



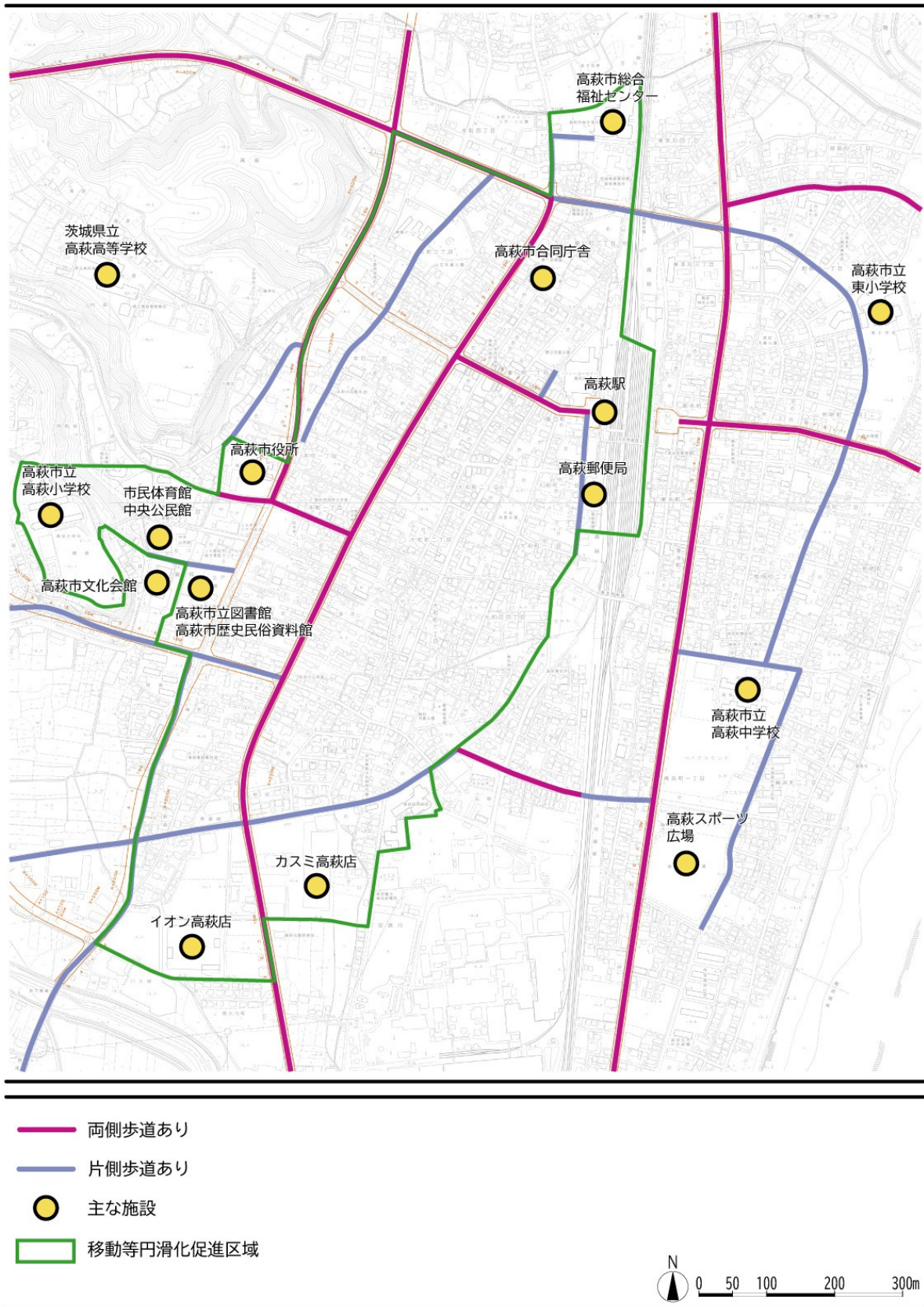
資料：JR 東日本ホームページ

④バスターミナル

バスターミナルはJ R高萩駅西側の駅前広場南側に整備されています。島状の停留所が8バース整備されていますが、廃止された路線も多いため、運行頻度は低くなっています。



図－J R 高萩駅周辺の歩道の状況

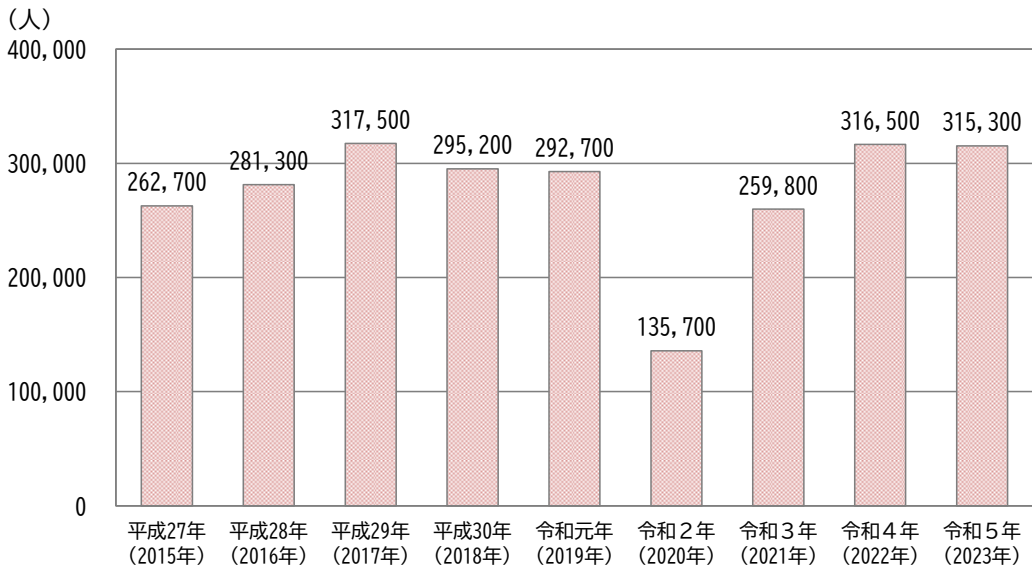


3. 観光来訪者の状況

本市の観光来訪者の状況をみると、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2(2020)年に大きく減少しましたが、令和4(2022)年、令和5(2023)年には、新型コロナウイルス感染症流行以前の水準に回復しています。

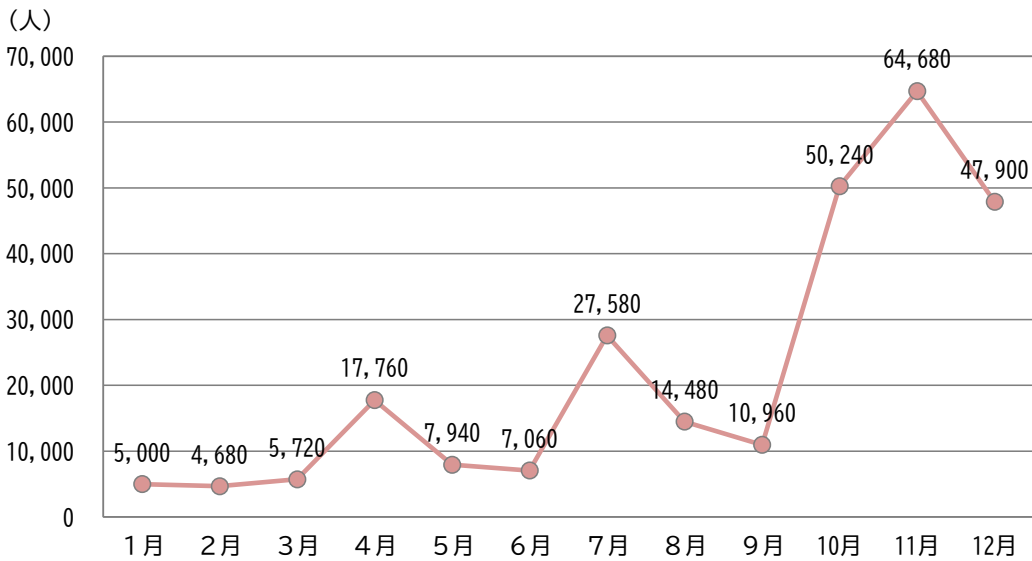
月別の動向をみると、紅葉シーズンである10月～12月、海水浴での来訪がみられる7月、桜の季節である4月が多く、特に紅葉の時期の来訪が多くなっています。

図一 観光客入込客数の推移



資料：茨城県観光客動態調査報告

図二 観光客入込客数の推移 (最近5年間月別平均)



資料：茨城県観光客動態調査報告



図ー主な観光資源



- | | |
|------|-------|
| 高速道路 | キャンプ場 |
| 国道 | 観光施設 |
| 県道 | 河川 |
| 鉄道 | |
| 史跡等 | |



表－主な観光資源

名 称	所在地	備 考
花貫溪谷	中戸川・大能地区	
汐見滝吊り橋	中戸川・大能地区	花貫溪谷
乙女滝・不動滝	中戸川	花貫溪谷
名馬里ヶ淵	中戸川	花貫溪谷
小滝沢キャンプ場	大能地内	
清流の郷花貫物産センター	大能 1100-2	
土岳	中戸川	
げやき平キャンプ場	中戸川 1483-10	
大和の森高萩スカウトフィールド	中戸川 412	
花貫さくら公園	秋山 2984	
花貫ダム	秋山 2989	
花貫ふるさと自然公園センター	秋山 2989-14	
花貫川第一発電所 第3号水路橋	秋山 2989	
Hagi Village (はぎビレッジ)	横川 1534-3	
小山ダム	横川 1533-1	
滝山溪谷	下君田	
高萩ユーフールド	下君田 682	
高萩ふれあいの里フィッシングエリア	上君田 1791	
万葉の道	高戸	
高戸小浜海岸	高戸 848-8	
Glamp Beach IBARAKI	高戸 848	
高戸前浜海岸	高戸 633-1	高萩海水浴場
有明海岸	有明町	
赤浜海岸	赤浜	
さくら宇宙公園	石滝 608-1	
穂積家住宅	上手綱 2337	
松岡城跡	下手綱	
お屋敷通り	下手綱地内	
高橋家の門・堀	下手綱 619	
高萩市森林公園	下手綱 1952-17	
高萩八幡宮	安良川 1180	
長久保赤水記念館(歴史民俗資料館)	高萩 8-1	
菊池寛実記念高萩炭礦資料館	高萩 624	
琵琶墓古墳	赤浜 720	
赤浜一号墳	赤浜 366-7	

資料：高萩市観光協会ホームページ



Ⅱ-3 バリアフリーマスタープランの課題

■コンパクトさを生かした市街地環境の充実

- 本市の市街地は、約1.5km四方のコンパクトな用途地域の中に形成されています。また、市街地内は概ね平坦であるとともに、土地区画整理事業により基盤整備されている地区もあり、車や自転車だけでなく、将来の移動を担う次世代モビリティによる移動利便性の確保も期待されます。
- 一方で、津波浸水や河川浸水などの災害リスクを有しており、高萩市立地適正化計画においても、可視化された災害リスクを考慮した居住誘導区域が定められています。

○約1.5km四方のコンパクトな用途地域の中には、高萩駅をはじめ複数の拠点形成されており、これらの移動利便性の確保が必要です。

■高萩駅周辺における都市機能の再構築

- 高萩駅周辺については、市民意向調査やヒアリングにおいて、賑わいの創出や商業施設などの生活利便施設の誘致などを期待する意見が多くなっています。

○高萩駅は、交通モードの転換や利用者を支援するための待合環境の整備が期待されることから、バリアフリー化と合わせて公共交通拠点としての機能充実を図ることが必要です。

■道路や公園をはじめとする基幹的な施設の改善

- 意向調査やヒアリングにおいては、道路や公園についてバリアフリー環境の改善を含む整備が期待されています。また、道路については、自転車の安全な通行という点についても、交通ルールの遵守とともに、安全な通行空間の整備が必要となっています。

○道路については、段差や凹凸、歩行（通行）幅の不足などが指摘されており、歩行者や自転車の安全性、車両との共存、路線バスやタクシーの安全な乗降環境の整備などに配慮した道路環境づくりが求められます。

○公園については、トイレについての意見が多くなっていますが、遊具をはじめとする公園施設の老朽化への対応や、利用者ニーズにあった公園機能の整備についても検討する必要があります。

■公共交通の利便性向上に向けた取り組みの充実

- 公共交通については、高萩市地域公共交通計画に基づき、交通事業者と連携した取り組みを推進しており、「My Ride のるる」の導入など公共交通による移動利便性の確保に取り組んでいますが、意向調査やヒアリングでは、高萩駅を起点としたネットワークや路線の充実など、一層の利便性向上が期待されています。

○公共交通の利用環境の改善を図るため、高萩駅周辺や商業施設等、公共交通の利用者が多い拠点のバリアフリー化を推進する必要があります。

○公共交通のバリアフリー化においては、駅前広場や道路などの施設面の改善だけでなく、サインや案内機能の充実も必要です。

■市街地内の拠点機能充実と連携による賑わいの創出

○本市の市街地には、高萩駅周辺や商業施設、公共施設など、拠点となり得る施設がコンパクトにまとまっています。

○市街地内の拠点について、利用者の利便性や機能を生かした拠点性の向上を図るため、公共交通の乗降環境の整備、支援を必要とする人が安心して利用できる環境の整備を進めることが必要です。

■支え合いの意識を創出する取り組みの充実

○意向調査やヒアリングにおいては、困っている人を見かけても「手助けをして良いか分からない」という意見が多く見られている他、支援を行う際には、施設のバリアフリー化だけでなく、障がいに対する理解や自立に向けた配慮などが不可欠であることが指摘されています。

○また、バリアフリーに関する用語については、若年層ほど理解が進んでいる傾向となっています。

○支援を必要とする人と支援する人が、互いを尊重しながら支え合うことができる意識を醸成するため、心のバリアフリーを推進する必要があります。

○バリアフリー化や支え合いを推進するため、全ての年齢層に向けた啓発活動が必要と考えられます。

■豊かな自然環境の活用とアクセス性の向上

○本市の活性化や観光交流を推進するためには、海や山などの地域資源の活用が重要であり、高萩駅から山間地域や海などへのアクセスを確保する必要があります。

○現在は、主な観光シーズンである秋に観光協会が高萩駅から花貫溪谷までのバスを運行していますが、インバウンドについてもツアーから個人旅行への移行が進んでいることなどを考慮し、公共交通による駅からのアクセス性の向上、外国語表記の充実による利便性の向上についても検討する必要があります。

○観光来訪者の利便性を確保するため、公共交通による移動や休憩、情報提供などの機能充実を図る必要があります。

○情報提供については、インバウンドの増加を考慮し、外国語表記の充実による利便性の向上についても検討する必要があります。



Ⅱ-4 移動等円滑化の基本的な考え方

1. 基本的な考え方

移動円滑化の推進にあたっては、本市の用途地域（市街地）がコンパクトであるという特性に注目するとともに、市民からのニーズも高い拠点形成と連携しながら、人口減少・少子高齢化の中でも、維持していくことが必要な生活支援機能の確保と、賑わいや交流の創出を図ることが求められます。そのため、移動円滑化のターゲットについては、高齢者や障がいを持つ方だけでなく、自らの移動手段を持たない若年層や外国人来訪者など、広範な対象を想定することとし、移動円滑化により、つながりと共生が育まれるまちづくりを目指します。

2. 基本理念と目標

基本的な考え方をもとに、移動円滑化に向けた基本理念を次のように設定します。

【基本理念】

すべての人が安全・安心で快適に移動でき、つながりと共生を育むまちづくり

■目標-1 暮らしに必要な拠点への利便性確保

○市街地の拠点である高萩駅周辺（駅、駅前広場、バスターミナル等）や、多くの市民などが利用する生活利便施設、公共施設のバリアフリー環境を向上します。

■目標-2 安全・安心で快適な移動を支える環境づくり

○市街地の根幹を形成する幹線道路や公園などの公共空間のバリアフリー化を推進します。

■目標-3 バリアフリーの推進と共生（支え合い）を育む環境づくり

○バリアフリー化の推進を通じて、共生（支え合い）を育むとともに、継続的な推進体制づくりを目指します。

Ⅱ－５ 移動等円滑化促進地区の設定

1. 移動等円滑化促進地区の要件

移動等円滑化促進地区の要件は、バリアフリー法第2条第1項第23号において次の①～③のように定められています。

①生活関連施設があり、かつ、それらの間の移動が通常徒歩で行われる地区

- ・原則として生活関連施設（鉄道駅、公共施設、教育施設、福祉施設、生活関連施設等）が概ね3以上あること。

※移動が通常徒歩で行われる地区：生活関連施設が徒歩圏内に集積している地区。

②生活関連施設及び生活関連経路についてバリアフリー化の促進が特に必要な地区

- ・高齢者、障がい者等の移動や施設利用の状況、土地利用や諸機能の集積の状況や、これらの将来の方向性の観点から総合的に判断し、一体的なバリアフリー化の促進が特に必要な地区。

③バリアフリー化を促進することが、総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切な地区

- ・移動等円滑化促進地区におけるバリアフリー化の促進が、様々な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切であると認められる地区であること。

2. 移動等円滑化促進地区に関して記載する事項

表－移動等円滑化促進地区に関して記載する事項

記載事項	内 容
移動等円滑化促進地区の範囲	○バリアフリーを推進する区域を定めます。区域の設定においては、生活関連施設、生活関連経路が含まれるよう設定することとし、境界等の設定においては、町界・字界、道路、河川、鉄道等の施設、都市計画道路等によって明確に表示して定めます。
基本方針	○移動等円滑化促進地区の特性を踏まえ、バリアフリー化を進めるにあたっての基本方針を示します。
生活関連施設	○多数の高齢者、障がい者等が利用する旅客施設、官公庁施設、教育施設、福祉施設、病院、文化施設、商業施設などの多様な施設を位置づけ、地域や事業者、行政など複数の関係者間で、重点的にバリアフリー化を行うべき施設を共有します。
生活関連経路	○生活関連施設を利用する方の利用頻度や歩行者交通量などを考慮しながら、利用が多い経路を優先的に選定し、生活関連施設相互のネットワークを設定します。生活関連経路として位置づけた場合、地域や事業者、行政など複数の関係者間で、重点的にバリアフリー化を行うべき経路を共有することができるため、事業化に向けた準備期間を設けることや、経路・施設間の連携を図ることに加え、生活関連施設との出入口部分等については「行為の届出」の対象となり、生活関連施設・経路間の移動の連続性を確保されることが期待されます。



図一 移動等円滑化促進地区のイメージ



資料：移動円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン
(国土交通省)



4. 生活関連施設及び生活関連経路の設定

(1) 生活関連施設の設定

生活関連施設については、多くの高齢者、障がいのある人等が利用する旅客施設、公共（官公庁）施設、医療施設、商業施設、教育文化施設などの施設を位置づけることができます。

本計画では、前項で設定した移動等円滑化促進地区内に位置する施設について、高齢者、障がいのある人に限らず不特定多数の利用が見込まれる施設として、次に示す施設を生活関連施設として位置づけることとします。

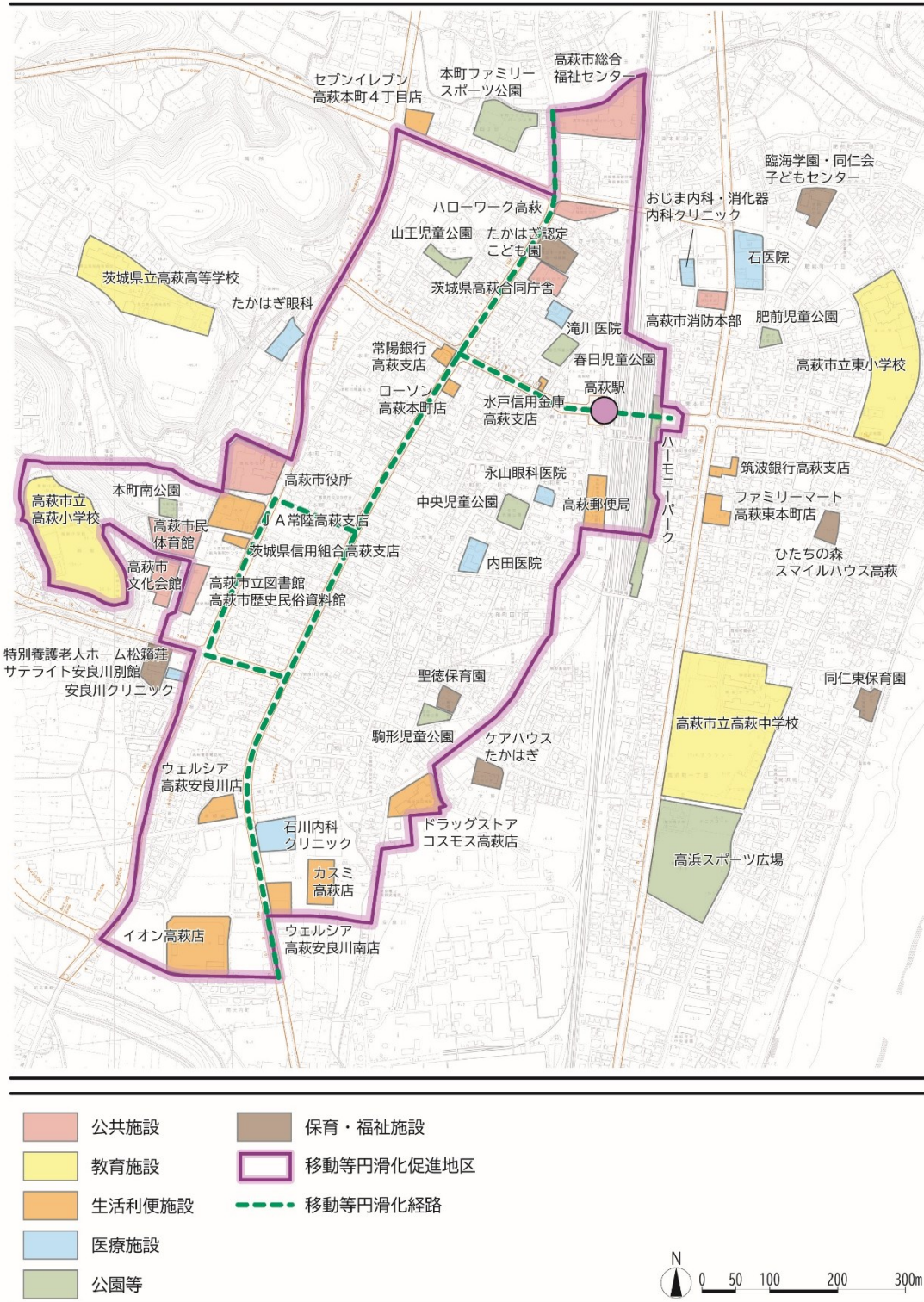
表－生活関連施設の例

区分	施設例	施設名
旅客施設	<input type="checkbox"/> 鉄道駅	J R 高萩駅
官公庁施設	<input type="checkbox"/> 市役所 <input type="checkbox"/> 郵便局	高萩市役所 高萩市総合福祉センター ハローワーク高萩 茨城県高萩合同庁舎 高萩郵便局
教育文化施設	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 市民会館・ホール <input type="checkbox"/> 学校教育施設 <input type="checkbox"/> 社会教育施設	高萩市立図書館 高萩市歴史民俗資料館 高萩市民体育館 高萩市立高萩小学校
子育て支援施設	<input type="checkbox"/> 認定こども園 <input type="checkbox"/> 保育所	たかはぎ認定こども園 聖徳保育園
医療施設・福祉施設	<input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 診療所・クリニック <input type="checkbox"/> 福祉施設 <input type="checkbox"/> 介護施設	滝川医院 内田医院 石川内科クリニック 永山眼科医院
商業施設	<input type="checkbox"/> 大規模小売店舗 <input type="checkbox"/> 商店街等	イオン高萩店 カスミ高萩店 ウェルシア高萩安良川店 ウェルシア高萩安良川南店 ドラッグストアコスモス高萩店 ローソン高萩本町店
金融機関	<input type="checkbox"/> 金融機関 <input type="checkbox"/> 郵便局	常陽銀行高萩支店 高萩郵便局 茨城県信用組合高萩支店 水戸信用金庫高萩支店 J A 常陸高萩支店
その他	<input type="checkbox"/> 公園 <input type="checkbox"/> 観光施設 <input type="checkbox"/> 避難施設・避難場所	山王児童公園 春日児童公園 中央児童公園 駒形児童公園 本町南公園 ハーモニーパーク

(2) 生活関連経路の位置づけ

生活関連経路はバリアフリー法において、生活関連施設相互間の経路と定義されていることから、(1)で位置づけた生活関連施設を考慮しながら、生活関連施設相互間を連携する経路を位置づけます。

図一 生活関連経路の位置づけ





第Ⅲ章 移動等円滑化促進地区におけるバリアフリー化の施策

Ⅲ-1 バリアフリー化の基本方針

バリアフリー化に関する各種の基準や、まち歩き、関連団体ヒアリングでの意見を踏まえ、移動等円滑化促進地区において、基本理念の実現に向けたバリアフリー化を推進するため、バリアフリー化の方針を次のように設定します。

【移動等円滑化促進区域における基本方針】

- 約 1.5km 四方の範囲に形成されるコンパクトな市街地という特性を生かし、生活関連施設及び生活関連経路の明確化を図り、高齢者や障がいを持つ方、妊産婦や乳幼児連れの方をはじめとして、誰もが移動しやすく、活動できるまちを創ります。
- JR高萩駅については、本市への玄関口であるとともに、賑わい創出が期待されることから、駅前広場やバスターミナル、商店街などと一体となったバリアフリー環境の向上を目指します。
- 路線バスやタクシーの利便性を向上し、高萩駅を拠点として本市の観光拠点などへのアクセシビリティの向上を目指します。
- バリアフリーに対する啓発を推進し、行政だけでなく市民や事業者が参加し、支え合いを育む

なお、バリアフリー化にあたっては、バリアフリー法に基づく移動等円滑化基準への適合に努めるとともに、関連するガイドライン等に留意した整備を推進することとします。

表-バリアフリー化に関する主な基準等

分野	名称	所管等
公共交通	移動等円滑化のために必要な旅客施設又は車両等の構造及び設備並びに旅客施設及び車両等を使用した役務の提供の方法に関する基準（公共交通移動等円滑化基準）	国土交通省【省令】令和6年12月改正
道路	移動等円滑化のために必要な道路の構造及び旅客特定車両停留施設を使用した役務の提供の方法に関する基準（道路移動等円滑化基準）	国土交通省【省令】令和3年3月改正
	移動等円滑化のために必要な道路の占用に関する基準	国土交通省【省令】令和3年1月改正
建築物	高齢者、障害者等の移動の円滑化の促進に関する施行令	国土交通省【政令】令和7年6月改正
	高齢者、障害者等が円滑に利用できるようにするために誘導すべき建築物特定施設の構造及び配置に関する基準（建築物移動等円滑化誘導基準）	国土交通省【省令】令和7年6月改正
公園	移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準（都市公園移動等円滑化基準）	国土交通省【省令】令和6年11月改正
交通安全	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る信号機等に関する基準	国家公安委員会【規則】令和5年3月改正

駐車場	移動等円滑化のために必要な特定路外駐車場の構造及び設備に関する基準（路外駐車場移動等円滑化基準）	国土交通省【省令】令和7年6月改正
公共交通	公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン バリアフリー整備ガイドライン 旅客施設編	国土交通省 令和7年9月改訂
	公共交通機関の車両等に関する移動等円滑化整備ガイドライン バリアフリー整備ガイドライン 車両等編	国土交通省 令和7年9月改訂
	公共交通機関の役務の提供に関する移動等円滑化整備ガイドライン バリアフリー整備ガイドライン 役務編	国土交通省 令和7年9月改訂
道路	道路の移動等円滑化に関するガイドライン	国土交通省 令和6年1月
建築物	高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準	国土交通省 令和7年5月改訂
公園	都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン【改訂第2版】	国土交通省 令和4年3月

Ⅲ-2 バリアフリー化の施策

バリアフリー化に向けた施策については、本市の移動等円滑化促進地区の現状や、意向調査やヒアリング調査等で得られた意見を考慮しながら、全ての人にとって「利用しやすい環境」づくりを目指します。

■目標1：暮らしに必要な拠点への利便性確保

- ◆施策1-① 高萩駅周辺の環境整備
- ◆施策1-② 公共空間におけるバリアフリー環境の充実
- ◆施策1-③ 商業施設や公共施設などにおけるバリアフリー環境の充実

■目標2：安全・安心で快適な移動を支える環境づくり

- ◆施策2-① 幹線道路の歩行環境や安全性の向上
- ◆施策2-② 移動利便性を支える環境の整備促進
(視覚障がい者誘導用ブロック、サイン)

■目標3：バリアフリーの推進と共生（支え合い）を育む環境づくり

- ◆施策3-① 「心のバリアフリー」の普及・啓発
- ◆施策3-② 多様な主体の関わり合いによるバリアフリーの推進
- ◆施策3-③ 推進体制の整備



■目標1：暮らしに必要な拠点への利便性確保

◆施策1-① 高萩駅周辺の環境整備

- 高萩駅前については、本市への玄関口として、駅、駅前広場、こ線橋、バスターミナル、タクシー乗り場について、不陸等による段差の解消、歩道と車道の間段差がある箇所の高さの調整や動線の確保について検討します。
- 交通モードの転換における利便性向上を図るため、多言語表記を含む案内やサインの整備を進めます。
- 移動等に支援を必要とする方の利便性と安全性を確保するため、スロープの勾配の点検・改善、視覚障がい者誘導用ブロックの設置、車椅子利用者の安全な乗降スペースの確保等について検討します。
- 高萩駅構内については、エレベーターや点字ブロック等が設置され、バリアフリー環境が整備されていますが、駅舎への安全な動線を確保するため、バスターミナルやタクシー乗り場、一般車乗降場などからの動線について点検・改善を行います。
- 高萩駅東西を連携するこ線橋については、高齢者や障がいを持つ方の利用が困難となっているため、老朽化対策を含めたバリアフリー化の検討を進めます。



こ線橋に設置されているスロープ（急傾斜かつ幅が狭く安全な利用が困難）

◆施策1-② 公共空間におけるバリアフリー環境の充実

- 既存の公園などの公共空間については、バリアフリー化に関する基準等に基づき点検・改善を行います。
- 公園の整備・改修にあたっては、利用者ニーズの把握を行いながら、バリアフリー化をはじめとする利便性向上に配慮します。
- 公園内に設置されている公衆トイレについては、バリアフリー化とともに、日常的な施設の点検、適正利用に取り組むとともに、民間施設を利用したトイレの確保についても検討します。
- 令和3(2021)年4月から、高齢者障害者等用施設等の適正な利用の推進が、国・地方公共団体・国民・施設設置管理者の責務となったことから、高齢者障害者等用施設等の適正な利用の推進に向けた広報・啓発を推進します。

適正利用推進キャンペーンの各種ポスター



資料：高齢者障害者等用施設等の適正利用推進キャンペーンポスター・チラシ（2025年度）
（国土交通省）

◆施策1-③ 商業施設や公共施設などにおけるバリアフリー環境の充実

- 商業施設や公共施設については、建築物に関するバリアフリー化に関する基準等に基づき、施設の改善・整備を促進します。
- 駐車場については、高齢者や障がいを持つ方が安全に利用できるよう、乗降スペースや施設への動線の適正化を促進します。



■目標2：安全・安心で快適な移動を支える環境づくり

◆施策2-① 幹線道路の歩行環境や安全性の向上

- 道路については、道路構造令及び道路等移動円滑化基準などにに基づき、段差の解消、平坦性の確保、通行スペースの確保等を推進します。
- 車道と歩道が区分される幹線道路等については、障がいのある人と介助者が安全に通行できる幅を確保できる歩道整備を目指します。
- 歩道部の不陸や車道と歩道の境界部の段差等の発生も見られることから、これらの改善・修繕について関係機関との調整協議を進めます。



不陸による歩道部の段差



歩道部と車道部の段差

- ・車椅子体験では、1～2cmの段差でも移動が困難。

- 歩道においては、視覚障がい者誘導用ブロックや車止め等の配置について、点検・整備を行うとともに、適正なノボリや看板等の掲出を促進します。
- 歩道における自転車の走行については、道路交通法において子どもや高齢者等の走行が認められることから、自転車に関するルールやマナーの周知を行い、自転車と歩行者が共存できる環境づくりを目指します。
- バス停留所周辺については、縁石の開口部とバス乗降位置の点検・改善、段差の解消等について、道路管理者との協議を進めます。

◆施策2-② 移動利便性を支える環境の整備促進

- 視覚障がい者誘導用ブロックについては、利用者の意向、道路や歩道の状況などを考慮しながら、安全な移動を確保できるよう点検・改善に取り組みます。
- サインについては、観光施設や公共施設、交通手段に関する案内など、多様な情報提供が求められることから、関係部署と連携しながら、多言語化を含む整備を検討します。
- 全ての人の移動利便性を確保するため、バリアフリーマップなど、交通施設や観光施設などに関する情報提供媒体の作成を検討するほか、各種媒体へのバリアフリー情報の掲載を促進します。

バリアフリーマップの作成マニュアルの概要

“みんなでつくる”バリアフリーマップ作成マニュアル

～市町村による一元的なバリアフリー情報の提供のための手引き～

別紙2

マニュアルの概要

- 令和元年度に「バリアフリーマップ作成マニュアルに関する検討会」※1を開催し、市町村がバリアフリー法におけるマスタープラン等に基づいて※2、地域のバリアフリー情報やバリア情報を一元的に収集・整理・提供する際に参考となるマニュアルを作成・公表。
- 既存のバリアフリーマップにおいて提供されているバリアフリー情報や提供方法等の好事例を収集・整理し、特に移動の連続性の観点から必要な経路情報や、障害種別毎に異なる必要情報、先進的な事例等を記載。

※1 座長：東洋大学 高橋名誉教授、委員：別紙2のとおり

※2 マスタープランや基本構想の検討段階である場合も想定して作成



マニュアルの内容

1. 一元的なバリアフリー情報提供の意義

バリアフリー情報提供の必要性や、バリアフリーマップ等による一元的な情報提供を促進するための仕組みについて解説

2. バリアフリー情報提供の対象者と求められる情報

情報提供の基本的な考え方や、障害の特性に応じて求められる情報の内容を解説

3. バリアフリーマップの作成

バリアフリーマップを作成する際の基本的な手順や、情報管理のしやすさに配慮した情報収集や整理の方法の具体的事例を解説

4. バリアフリーマップの評価・見直し

バリアフリーマップを作成して完結ではなく、当事者等の声を適切に反映するための評価や、定期的な更新の重要性を解説

5. バリアフリーマップの事例

市町村等による取組だけでなく、多様な主体による多様な情報提供の先進的な事例を紹介

<参考> 市町村によるバリアフリーマップ等の作成の円滑化

市町村がマスタープランや基本構想において、バリアフリーマップを作成することについて明記した場合に、円滑に情報の収集ができるよう、施設設置管理者からバリアフリー化の状況等を報告させることができる規定を、H30バリアフリー法改正により創設。（法24条の7、24条の8）

対象施設 以下の施設の管理者等に求めることができる

義務：旅客施設、特定道路
努力義務：特定路外駐車場、特定公園施設、特別特定建築物

情報提供の内容 エレベーターの有無、障害者用のトイレ、駐車施設の有無・数 等

バリアフリーマップの作成例（高槻市）



資料：国土交通省ホームページ



■目標3：バリアフリーの推進と共生（支え合い）を育む環境づくり

◆施策3-① 「心のバリアフリー」の普及・啓発

○「心のバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり支え合うこととされており（「ユニバーサルデザイン2020 行動計画（2017年2月ユニバーサルデザイン2020 関係閣僚会議決定）」より）、この中で示される、「心のバリアフリー」を体現するためのポイントを踏まえ、関係機関と連携しながら普及・啓発に取り組みます。

【「心のバリアフリー」を体現するためのポイント】

- ★障がいのある人への社会的障壁を取り除くのは社会の責務であるという「障害の社会モデル」を理解すること。
- ★障がいのある人（及びその家族）への差別（不当な差別的取扱い及び合理的配慮の不提供）を行わないよう徹底すること。
- ★自分とは異なる条件を持つ多様な他者とコミュニケーションを取る力を養い、すべての人が抱える困難や痛みを想像し共感する力を培うこと。

○誰もが安全で快適に移動できるユニバーサルデザインのまちづくりを推進するため、『「障害」は個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によって創り出されているものであり、社会的障壁を取り除くのは社会の責務である（「ユニバーサルデザイン2020 行動計画」より）。』とする「障害の社会モデル」に対する意識の醸成に取り組みます。

◆施策3-② 多様な主体の関わり合いによるバリアフリーの推進

- ハード対策とソフト対策が一体となったバリアフリー化を推進するため、支援を必要とする方への支援のあり方、バリアフリー化の取り組み等に関する啓発を行うため、パンフレットの作成・配布や広報活動の充実・強化を図ります。
- 支援を必要とする方が適切な支援を受けることができるよう、市民や事業者に対し高齢者や障がいの持つ方との交流機会や支援のあり方、コミュニケーションの取り方などについて学ぶ機会を設け、支援を必要とする方との触れ合い、気づきやバリアフリーの意識づくりを推進します。

○児童生徒に対する支援やコミュニケーションに対する学びの機会を提供するため、高齢者や支援を必要とする方との交流機会、車いすやアイマスクなどを用いた体験機会を創出し、心のバリアフリーに関する教育を推進します。

【心のバリアフリーの啓発に向けた取り組み例】

■ **バリアフリーに対する理解を深めるための啓発・広報活動**

- 事業者や市民団体等と連携したバリアフリーマップの作成と周知
- 学校等における障がい者等との交流やバリアフリー体験の機会の提供
- イベント等にあわせたマナーアップ活動
(視覚障害者誘導用ブロック上の障害物や違法駐輪等)

■ **支援を必要とする方に対する行動につなげるための教育活動**

- 障がい者サポーターなどの養成や啓発に対する講座の開催
- 事業者等における接客マニュアルの整備
- 施設所有者や管理者によるバリアフリー点検の実施

○支援を必要とする方とのコミュニケーションを確保するため、コミュニケーション支援ボードや支援アプリ、各障がいを対象としたマーク、高齢運転者標識及びマタニティマーク等の普及・啓発を推進します。



身体障害者標識（身体障害者マーク）



ヘルプマーク

◆ **施策③-3 推進体制の整備**

○バリアフリー化の推進にあたっては、本市だけでなく交通事業者や施設管理者との連携が不可欠であることから、市内においては、都市計画、道路、公園、福祉、教育、市民協働などの部署の連携強化を図るとともに、交通事業者や施設管理者との情報共有を推進します。



第IV章 移動等円滑化の推進

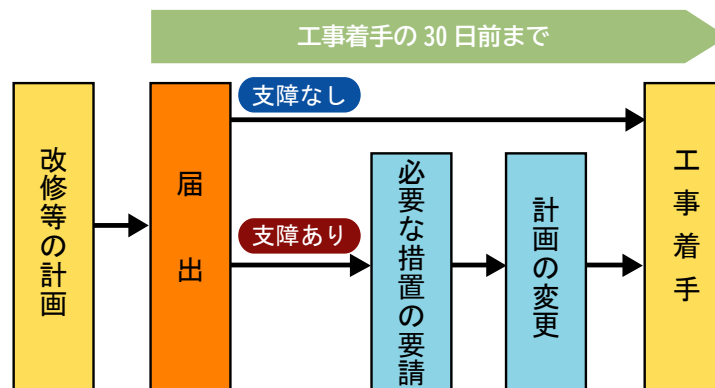
IV-1 行為に関する届出

1. 届出制度の概要

バリアフリー法では、公共交通事業者又は道路管理者は、マスタープランの区域において、旅客施設*や道路*の改良等であって、他の施設と接する部分の構造の変更等を行う場合に、当該行為に着手する30日前までに市町村に届出を行うこととなっており、市は、届出のあった行為がバリアフリー化を図る上で支障があると認めるときは、行為の変更等の必要な措置を要請することができ、改修内容を変更する等の要請を行うことにより、施設間の移動の連続性を確保が可能となります。

※旅客施設は生活関連旅客施設。道路は生活関連経路である道路法による道路です。

図-届出の概要



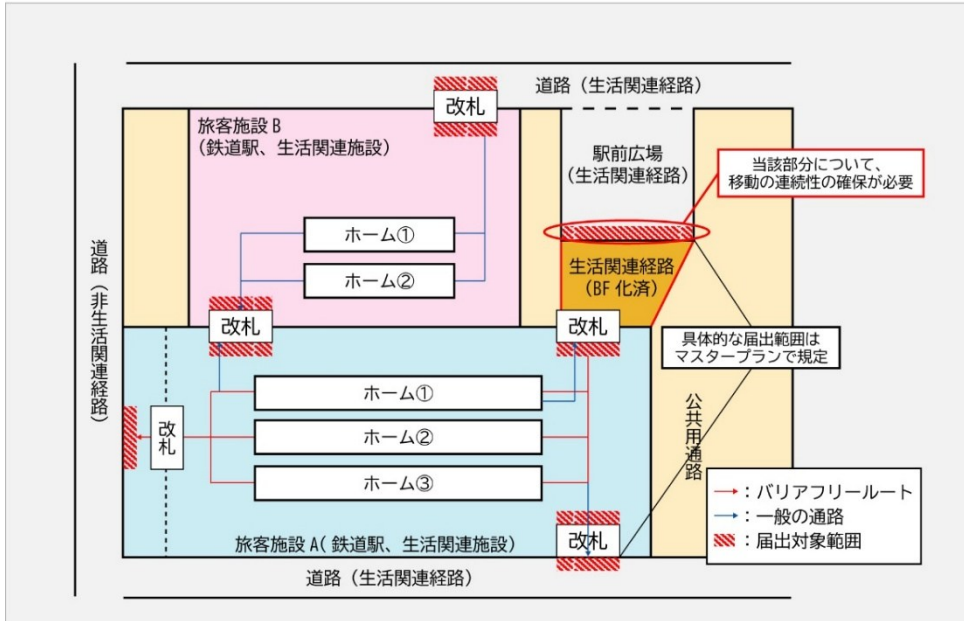
2. 届出制度の対象となる範囲

本市における届出対象となる範囲については、以下の通りとします。

表-届出を要する対象となる範囲

届出施設	届出対象となる範囲
旅客施設	○生活関連施設である旅客施設のうち、下記の範囲。 【バリアフリー法施行令第28条第1号】 <ul style="list-style-type: none"> ・他の生活関連旅客施設との間の出入口 ・生活関連経路を構成する道路法による道路又は市町村が指定する一般交通用施設との間の出入口 ・バリアフリールートとの出入口
道路	○生活関連経路である道路のうち、下記の範囲。 【バリアフリー法施行令第28条第2号】 <ul style="list-style-type: none"> ・生活関連旅客施設の出入口又は市町村が指定する生活関連経路を構成する一般交通用施設

図－届出対象範囲のイメージ



資料：移動円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン
(国土交通省)

表－届出制度の範囲

旅客施設	道路	届出の範囲
J R 高萩駅	J R 高萩駅西駅前広場	駅と駅前広場の接続部分
	J R 高萩駅こ線橋	駅東西駅前広場とこ線橋の接続部分
	県道高萩停車場線	駅前広場と道路の接続部分
	市道 102 号線 市道 1355 号線	駅前広場と道路の接続部分



IV-2 市町村が行う移動等円滑化に関する情報の収集、整理及び提供に関する事項

施設に関するバリアフリー情報は、高齢者や支援を必要とする方にとって、当該施設を利用する際の不可欠な情報となります。バリアフリー法においては、市町村がバリアフリーマップ等を作成するため、施設設置管理者に対し、バリアフリーマスタープランでの位置づけをもとに情報の提供を求められることができるとされています。

【施設設置管理者からの情報提供】

- 公共交通事業者等及び道路管理者：義務
- 路外駐車場管理者等、公園管理者等及び建築主等：努力義務

情報提供の対象は、バリアフリーの設備の有無及びその設置箇所、その他高齢者や障がい者等が当該施設を利用するために必要となる情報であり、高齢者や障がい者に配慮したエレベーターの設置、トイレ、駐車施設などの情報について提供を求めるとします。

市では、これらの情報提供をもとに、バリアフリー情報について担当部署による集約を行うとともに、関連部署と連携しながら情報発信を進めることとします。

IV-3 その他、移動等円滑化促進地区における移動等円滑化の促進のために必要な事項

移動等円滑化促進地区におけるバリアフリー環境の向上を目指し、次のような事項についても配慮することとします。

■バリアフリー基本構想及び特定事業計画の策定

本計画では、移動等円滑化促進地区を設定し、地区内で生活関連施設及び生活関連経路を示しました。この位置づけをもとに、整備の具体化を推進するためには、バリアフリー基本構想及び特定事業計画の策定が必要になることから、これらの策定に向け、関係部署との調整・協議を進めます。

■駅前駐輪場の適正管理

駅前駐輪場については、定期的に放置自転車の管理を行っていますが、引き続き、駐輪環境の維持や通行空間の確保を図るため、関係部署と連携して適正管理を行います。

■歩行者空間の確保

市街地においては、歩道上への商品のはみ出し陳列や自動販売機の設置、看板やノボリ等の掲出等、安全な歩行空間確保に支障を及ぼす行為について、適正な指導を行います。

■工事中のバリアフリー環境の確保

道路等の工事にあたっては、通路幅員の確保、段差の解消、視覚障がい者誘導用ブロックの設置等により、安全に歩ける空間の確保を図るとともに、誘導員の配置や工事情報の提供等により、利用者が安心して移動できる環境づくりを目指します。

IV-4 移動等円滑化促進方針の評価に関する事項

本計画に基づく、バリアフリー化に向けた取り組みを推進するためには、施策の評価と見直しを継続的に実施する必要があります。そのため、PDCAサイクルに基づいた評価を行うこととし、施策評価を行うための指標の設定、評価シートの作成を行います。

また、経済状況の変化だけでなく、情報技術をはじめとする新たな技術の実装、社会ニーズの変化なども考えられることから、必要に応じてバリアフリーに関する協議体を設置するなど、バリアフリー化の現状と課題の共有と施策の検討を行う機会を確保することとします。

なお、本計画については、5年後を目途に計画全体の評価を行い、令和12(2030)年に見直しを行うこととします。

資料編

1. 策定の経緯

日付	項目	内容
令和7年7月8日	□第1回策定協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーマスタープラン策定について ・市民意向調査の実施について
令和7年8月1日 ～8月31日	□市民意向調査	<ul style="list-style-type: none"> ・期間：8月7日～8月22日 ・対象：16歳以上の住民2,000名 ・回収（郵送・Web）：559件（28.0%）
	□中学生意向調査	<ul style="list-style-type: none"> ・期間：8月1日～8月31日 ・対象：市内の中学生555名 ・回収（タブレット）：143件（25.6%）
令和7年9月3日 ～9月26日	□関係団体ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> ・対象：交通事業者、観光事業者、高齢者団体、障がい者団体、交通安全団体、若年層 ・参加者：計17名
令和7年10月23日	□第2回策定協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意向について（アンケート・ヒアリング報告） ・移動円滑化の基本的な考え方、移動等円滑化促進地区の設定について ・「まち歩き」の実施について
令和7年11月21日	□まち歩き	<ul style="list-style-type: none"> ・場 所：高萩駅周辺 ・参加者：障がい者団体、高齢者団体、学生など ・まち歩き点検、バリアフリー体験（車椅子移動体験など）
令和7年12月19日	□第3回策定協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・まち歩きの結果について ・高萩市バリアフリーマスタープラン（案）について ・概要版（案）について
令和7年12月24日 ～令和8年1月13日	□パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・意見2件（1名）
令和8年3月	□都市計画審議会報告	

2. 策定協議会設置要綱 

高萩市バリアフリーマスタープラン策定協議会設置要綱

(設置)

第1条 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（平成18年法律第91号。以下「法」という。）第24条の2の規定に基づき、移動等円滑化促進方針（以下「バリアフリーマスタープラン」という。）を策定するため、法第24条の4に規定する協議会として、高萩市バリアフリーマスタープラン策定協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 協議会は、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) バリアフリーマスタープランの策定に関すること。
- (2) その他バリアフリーマスタープランの策定に必要な事項

(構成)

第3条 協議会は、20人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱又は任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 市議会議員
- (3) 公共交通事業者
- (4) 関係行政機関の職員
- (5) 福祉、医療、介護等の関係団体の職員
- (6) 市民の代表者
- (7) 市職員
- (8) 前各号に掲げる者のほか、市長が認める者

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、その議長となる。

2 第3条第2項第3号から第5号までに規定する委員が会議に出席できないときは、当該委員の指名する者が代理として出席できるものとする。

(任期)

第6条 委員の任期は、バリアフリーマスタープランが策定されるまでとする。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、産業建設部都市建設課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会が別に定める。

附 則

この要綱は、令和7年4月1日から施行する。



3. 策定協議会名簿

高萩市バリアフリーマスタープラン策定協議会名簿

氏名	所属	職名	備考
熊澤 貴之	茨城大学	教授	(委員長)
堀野 圭一	東日本旅客鉄道株式会社 高萩駅	駅長	
仲野 徳寿	茨城交通(株)日立オフィス	運輸部部长	
緑川 貞幹	高萩タクシー(株)	代表取締役	
鈴木 幸男	侷東タクシー	所長	
川澄 崇	(社福)高萩市社会福祉協議会	事務局長	
沼田 俊明	高萩市民生委員児童委員協議会	会長	
鈴木 勝一	高萩市常設委員会	会長	
照沼 健一	高萩市高齢者クラブ連合会	会長	
川島 梢	たかはぎ認定こども園 父母の会	副会長	
中西 萌	たかはぎ認定こども園 父母の会	副会長	
柿本 憲治	国土交通省関東運輸局 茨城運輸支局	首席運輸企画専門官	
杉山 浩康	茨城県土木部道路維持課	課長	
大藤 和則	茨城県土木部都市局都市計画課	課長	
林崎 真	茨城県高萩警察署	署長	
磯野 健寿	茨城県高萩工事事務所	所長	
大月 隆行	高萩市 企画総務部	部長	
大森 壮一	高萩市 市民生活部	部長	
小森 裕之	高萩市 健康福祉部	部長	
吉成 浩一	高萩市 産業建設部	部長	(副委員長)
渡辺 忠紀	高萩市 教育委員会	部長	

(順不同、敬称略)

4. 用語集

用語	解説
あ行	
移動等円滑化	バリアフリー法に基づき、特に高齢者や障がい者が公共の施設や交通機関を利用する際に直面する障壁を取り除くことを目的としている。
インバウンド	主に外国から日本を訪れる観光客のこと。
か行	
居住誘導区域	人口減少の中にあっても一定のエリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保できるよう、居住を誘導すべき区域。
さ行	
次世代モビリティ	AIやIoTなどの先端技術を活用し、都市や生活の在り方を変革する新しい移動手段やサービスの総称。
自然動態	出生と死亡によって起こる人口変動の状態
社会動態	流入と流出によって起こる人口変動の状態
人口動態	一定期間中における人口の変動の状態
ソフト面	人材・技術・情報・組織・ルールなど目に見えない無形の要素
た行	
都市機能誘導区域	都市機能誘導区域は、医療・福祉・商業等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導し集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域。
は行	
ハード面	施設・設備・機器・道具など形として存在する有形の要素
バリアフリー	障がいのある人や高齢者をはじめ、誰もが生活のなかで感じる障壁（バリア）を取り除くことで、安心して暮らせるようにしたり、社会参加できるようにしたりする考え方・取り組みのこと。
PDCAサイクル	Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）の4段階を繰り返すことで、業務やプロセスを継続的に改善する手法。
不陸	面が水平でなく凹凸がある状態。
や行	
ユニバーサル	一般的。全てに共通。普遍的
ユニバーサルデザイン	年齢・性別・障がい・国籍などに関わらず、すべての人が利用しやすいように設計されたデザインのこと。
ら行	
ライフライン	生活・生命を維持するための水道・電気・ガス・通信などの施設
立地適正化計画	居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等のさまざまな都市機能の誘導により、都市全域を見渡し、持続可能な都市構造を目指す包括的なマスタープラン。

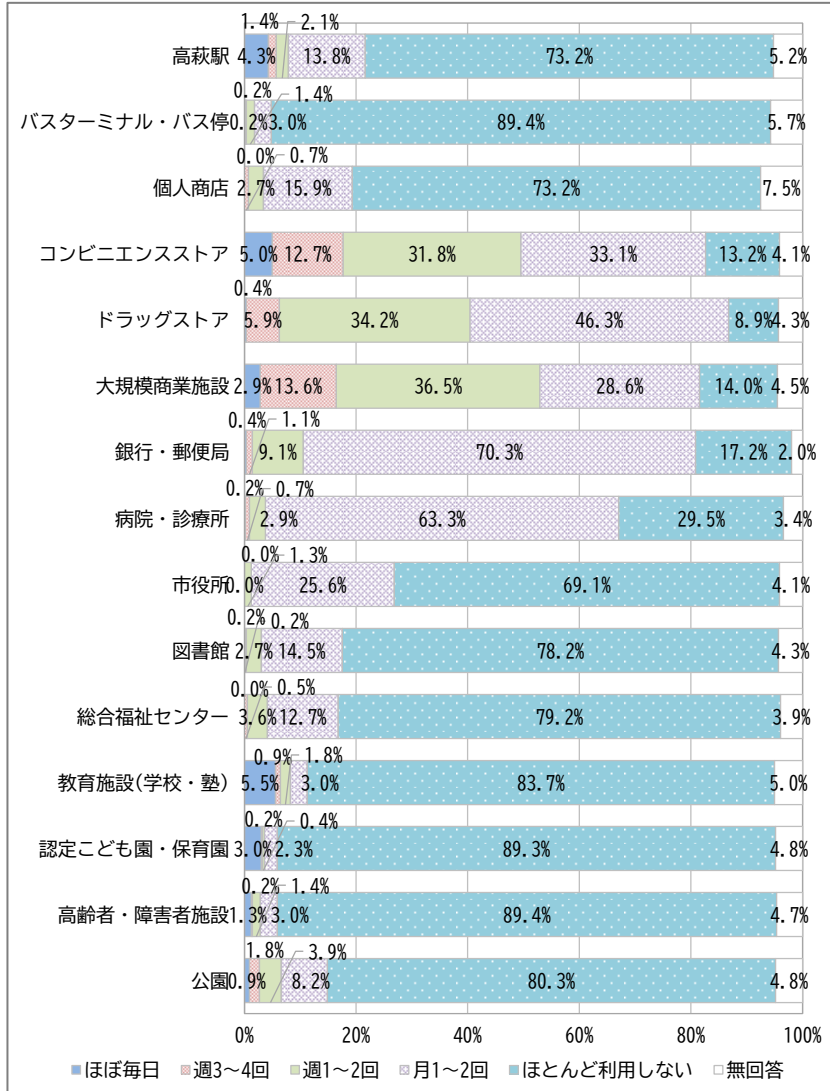


5. 市民意向調査結果（概要）

【施設の利用頻度】

設問 次の施設の利用頻度についてお答えください（それぞれ1つに○）

市民



【n=559】

■高萩駅【年代別クロス集計】

選択項目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ほぼ毎日	5	35.7%	3	11.5%	3	7.7%	6	7.5%	3	4.3%	3	2.7%	1	0.5%
週3~4回	0	0.0%	2	7.7%	1	2.6%	2	2.5%	1	1.4%	1	0.9%	1	0.5%
週1~2回	0	0.0%	1	3.8%	2	5.1%	3	3.8%	3	4.3%	1	0.9%	2	0.9%
月1~2回	4	28.6%	11	42.3%	9	23.1%	14	17.5%	7	10.1%	16	14.4%	16	7.3%
ほとんど利用しない	5	35.7%	9	34.6%	24	61.5%	51	63.8%	55	79.7%	85	76.6%	178	81.7%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	4.5%	20	9.2%
合計	14	100.0%	26	100.0%	39	100.0%	80	100.0%	69	100.0%	111	100.0%	218	100.0%

■バスターミナル・バス停【年代別クロス集計】

選択項目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ほぼ毎日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
週3~4回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
週1~2回	0	0.0%	1	3.8%	1	2.6%	1	1.3%	0	0.0%	1	0.9%	4	1.8%
月1~2回	1	7.1%	2	7.7%	2	5.1%	1	1.3%	2	2.9%	1	0.9%	8	3.7%
ほとんど利用しない	13	92.9%	23	88.5%	36	92.3%	75	93.8%	67	97.1%	102	91.9%	182	83.5%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.8%	0	0.0%	7	6.3%	22	10.1%
合計	14	100.0%	26	100.0%	39	100.0%	80	100.0%	69	100.0%	111	100.0%	218	100.0%

■個人商店【年代別クロス集計】

選択項目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ほぼ毎日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
週3~4回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	1.8%
週1~2回	0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%	2	2.5%	2	2.9%	3	2.7%	7	3.2%
月1~2回	2	14.3%	4	15.4%	8	20.5%	17	21.3%	12	17.4%	17	15.3%	29	13.3%
ほとんど利用しない	11	78.6%	21	80.8%	30	76.9%	57	71.3%	52	75.4%	83	74.8%	153	70.2%
無回答	1	7.1%	0	0.0%	1	2.6%	4	5.0%	3	4.3%	8	7.2%	25	11.5%
合計	14	100.0%	26	100.0%	39	100.0%	80	100.0%	69	100.0%	111	100.0%	218	100.0%

■コンビニエンスストア【年代別クロス集計】

選択項目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ほぼ毎日	0	0.0%	2	7.7%	5	12.8%	8	10.0%	6	8.7%	2	1.8%	5	2.3%
週3~4回	3	21.4%	6	23.1%	8	20.5%	19	23.8%	10	14.5%	15	13.5%	9	4.1%
週1~2回	4	28.6%	10	38.5%	14	35.9%	34	42.5%	27	39.1%	34	30.6%	54	24.8%
月1~2回	6	42.9%	5	19.2%	8	20.5%	16	20.0%	18	26.1%	38	34.2%	94	43.1%
ほとんど利用しない	1	7.1%	3	11.5%	4	10.3%	2	2.5%	8	11.6%	19	17.1%	37	17.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	3	2.7%	19	8.7%
合計	14	100.0%	26	100.0%	39	100.0%	80	100.0%	69	100.0%	111	100.0%	218	100.0%

■ドラッグストア【年代別クロス集計】

選択項目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ほぼ毎日	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%
週3~4回	1	7.1%	2	7.7%	5	12.8%	9	11.3%	5	7.2%	6	5.4%	4	1.8%
週1~2回	5	35.7%	9	34.6%	16	41.0%	36	45.0%	30	43.5%	42	37.8%	52	23.9%
月1~2回	6	42.9%	11	42.3%	13	33.3%	28	35.0%	30	43.5%	56	50.5%	115	52.8%
ほとんど利用しない	2	14.3%	4	15.4%	4	10.3%	5	6.3%	4	5.8%	4	3.6%	27	12.4%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.5%	0	0.0%	2	1.8%	20	9.2%
合計	14	100.0%	26	100.0%	39	100.0%	80	100.0%	69	100.0%	111	100.0%	218	100.0%

■大規模商業施設【年代別クロス集計】

選択項目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ほぼ毎日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	4	3.6%	11	5.0%
週3~4回	0	0.0%	4	15.4%	2	5.1%	11	13.8%	11	15.9%	15	13.5%	33	15.1%
週1~2回	7	50.0%	6	23.1%	19	48.7%	32	40.0%	24	34.8%	46	41.4%	69	31.7%
月1~2回	4	28.6%	12	46.2%	13	33.3%	23	28.8%	21	30.4%	31	27.9%	56	25.7%
ほとんど利用しない	3	21.4%	4	15.4%	5	12.8%	11	13.8%	12	17.4%	10	9.0%	33	15.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.5%	1	1.4%	5	4.5%	16	7.3%
合計	14	100.0%	26	100.0%	39	100.0%	80	100.0%	69	100.0%	111	100.0%	218	100.0%

■銀行・郵便局【年代別クロス集計】

選択項目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ほぼ毎日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
週3~4回	0	0.0%	1	3.8%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	3	1.4%
週1~2回	2	14.3%	1	3.8%	7	17.9%	7	8.8%	9	13.0%	4	3.6%	21	9.6%
月1~2回	3	21.4%	16	61.5%	22	56.4%	56	70.0%	41	59.4%	89	80.2%	164	75.2%
ほとんど利用しない	9	64.3%	8	30.8%	9	23.1%	14	17.5%	19	27.5%	16	14.4%	21	9.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.5%	0	0.0%	1	0.9%	8	3.7%
合計	14	100.0%	26	100.0%	39	100.0%	80	100.0%	69	100.0%	111	100.0%	218	100.0%

■病院・診療所【年代別クロス集計】

選択項目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ほぼ毎日	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
週3~4回	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	1	1.4%	1	0.9%	1	0.5%
週1~2回	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%	3	3.8%	3	4.3%	1	0.9%	6	2.8%
月1~2回	8	57.1%	9	34.6%	19	48.7%	43	53.8%	34	49.3%	68	61.3%	171	78.4%
ほとんど利用しない	6	42.9%	17	65.4%	15	38.5%	32	40.0%	31	44.9%	39	35.1%	25	11.5%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.5%	0	0.0%	2	1.8%	15	6.9%
合計	14	100.0%	26	100.0%	39	100.0%	80	100.0%	69	100.0%	111	100.0%	218	100.0%



■市役所【年代別クロス集計】

選択項目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ほぼ毎日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
週3~4回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
週1~2回	0	0.0%	1	3.8%	1	2.6%	2	2.5%	0	0.0%	1	0.9%	2	0.9%
月1~2回	2	14.3%	2	7.7%	10	25.6%	15	18.8%	18	26.1%	28	25.2%	68	31.2%
ほとんど利用しない	12	85.7%	23	88.5%	28	71.8%	61	76.3%	51	73.9%	79	71.2%	130	59.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.5%	0	0.0%	3	2.7%	18	8.3%
合計	14	100.0%	26	100.0%	39	100.0%	80	100.0%	69	100.0%	111	100.0%	218	100.0%

■図書館【年代別クロス集計】

選択項目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ほぼ毎日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
週3~4回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%
週1~2回	1	7.1%	1	3.8%	3	7.7%	2	2.5%	0	0.0%	1	0.9%	7	3.2%
月1~2回	1	7.1%	3	11.5%	8	20.5%	18	22.5%	8	11.6%	16	14.4%	27	12.4%
ほとんど利用しない	12	85.7%	22	84.6%	28	71.8%	58	72.5%	61	88.4%	89	80.2%	165	75.7%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.5%	0	0.0%	4	3.6%	18	8.3%
合計	14	100.0%	26	100.0%	39	100.0%	80	100.0%	69	100.0%	111	100.0%	218	100.0%

■総合福祉センター【年代別クロス集計】

選択項目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ほぼ毎日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
週3~4回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.4%
週1~2回	0	0.0%	1	3.8%	1	2.6%	5	6.3%	1	1.4%	1	0.9%	11	5.0%
月1~2回	2	14.3%	2	7.7%	5	12.8%	4	5.0%	6	8.7%	5	4.5%	46	21.1%
ほとんど利用しない	12	85.7%	23	88.5%	33	84.6%	69	86.3%	62	89.9%	101	91.0%	143	65.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.5%	0	0.0%	4	3.6%	15	6.9%
合計	14	100.0%	26	100.0%	39	100.0%	80	100.0%	69	100.0%	111	100.0%	218	100.0%

■教育施設(学校・塾)【年代別クロス集計】

選択項目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ほぼ毎日	5	35.7%	3	11.5%	7	17.9%	13	16.3%	2	2.9%	1	0.9%	0	0.0%
週3~4回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.8%	1	1.4%	0	0.0%	1	0.5%
週1~2回	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%	4	5.0%	2	2.9%	1	0.9%	1	0.5%
月1~2回	1	7.1%	0	0.0%	5	12.8%	4	5.0%	2	2.9%	1	0.9%	4	1.8%
ほとんど利用しない	8	57.1%	23	88.5%	25	64.1%	54	67.5%	62	89.9%	103	92.8%	191	87.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.5%	0	0.0%	5	4.5%	21	9.6%
合計	14	100.0%	26	100.0%	39	100.0%	80	100.0%	69	100.0%	111	100.0%	218	100.0%

■認定こども園・保育園【年代別クロス集計】

選択項目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ほぼ毎日	0	0.0%	0	0.0%	8	20.5%	9	11.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
週3~4回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
週1~2回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.9%
月1~2回	0	0.0%	0	0.0%	4	10.3%	5	6.3%	1	1.4%	1	0.9%	2	0.9%
ほとんど利用しない	14	100.0%	26	100.0%	27	69.2%	64	80.0%	68	98.6%	105	94.6%	193	88.5%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.5%	0	0.0%	5	4.5%	20	9.2%
合計	14	100.0%	26	100.0%	39	100.0%	80	100.0%	69	100.0%	111	100.0%	218	100.0%

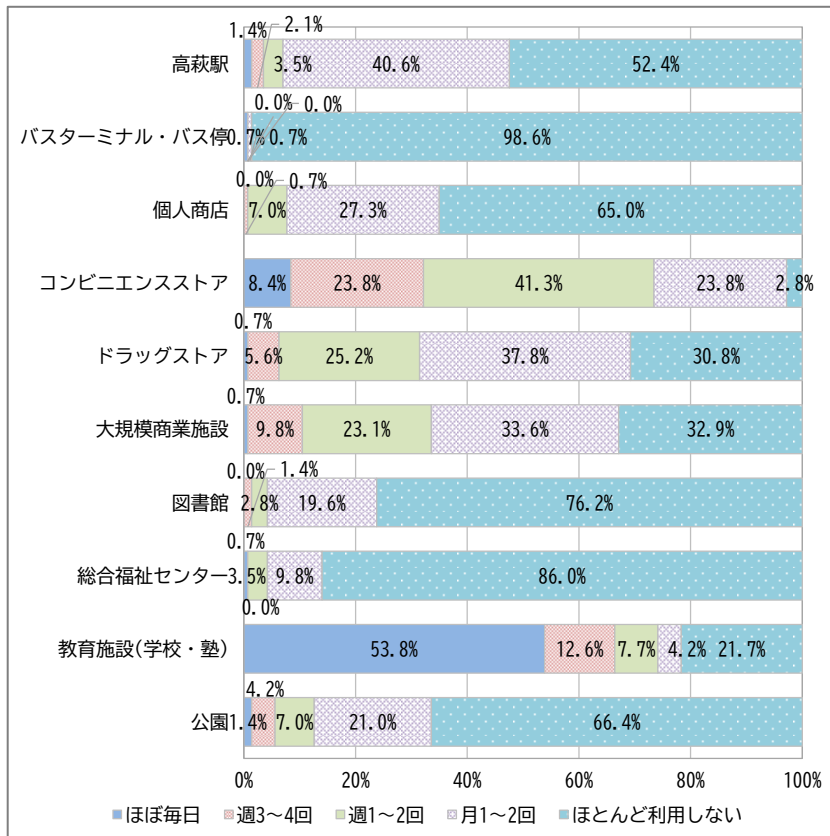
■高齢者・障害者施設【年代別クロス集計】

選択項目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ほぼ毎日	0	0.0%	1	3.8%	1	2.6%	4	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
週3~4回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%
週1~2回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	7	3.2%
月1~2回	0	0.0%	0	0.0%	4	10.3%	5	6.3%	1	1.4%	1	0.9%	6	2.8%
ほとんど利用しない	14	100.0%	25	96.2%	34	87.2%	69	86.3%	67	97.1%	105	94.6%	184	84.4%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	5	4.5%	20	9.2%
合計	14	100.0%	26	100.0%	39	100.0%	80	100.0%	69	100.0%	111	100.0%	218	100.0%

■公園【年代別クロス集計】

選択項目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ほぼ毎日	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	1.8%
週3~4回	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	1	1.4%	1	0.9%	6	2.8%
週1~2回	1	7.3%	1	3.8%	8	20.5%	2	2.5%	2	2.9%	3	2.7%	5	2.3%
月1~2回	2	14.3%	3	11.5%	4	10.3%	17	21.3%	3	4.3%	5	4.5%	12	5.5%
ほとんど利用しない	10	71.4%	22	84.6%	26	66.7%	58	72.5%	63	91.3%	97	87.4%	171	78.4%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.5%	0	0.0%	5	4.5%	20	9.2%
合計	14	100.0%	26	100.0%	39	100.0%	80	100.0%	69	100.0%	111	100.0%	218	100.0%

中学生

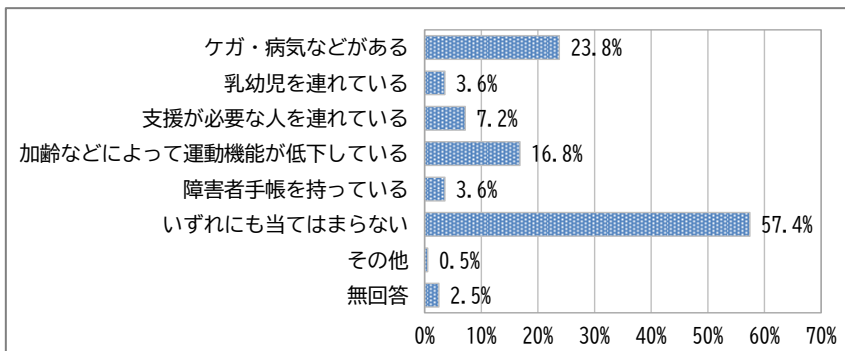


【n=143】

【バリアフリー環境に関する困りごと】

設問 あなたが移動する際の状況について、あてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

市民



【n=559】



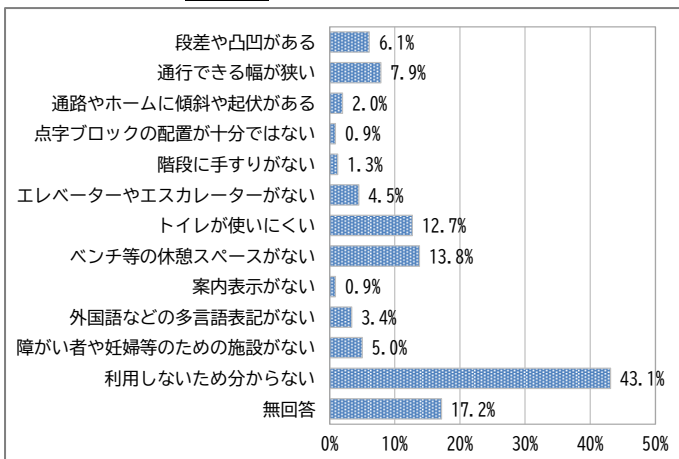
【年代別クロス集計】

選択項目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ケガ・病気などがある	1	7.1%	1	3.8%	5	12.8%	5	6.3%	13	18.8%	18	16.2%	89	40.8%
乳幼児を連れている	0	0.0%	1	3.8%	10	25.6%	7	8.8%	1	1.4%	0	0.0%	1	0.5%
支援が必要な人を連れている	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%	7	8.8%	8	11.6%	7	6.3%	15	6.9%
加齢などによって運動機能が低下している	1	7.1%	0	0.0%	2	5.1%	4	5.0%	6	8.7%	11	9.9%	69	31.7%
障害者手帳を持っている	0	0.0%	2	7.7%	2	5.1%	3	3.8%	3	4.3%	3	2.7%	7	3.2%
いずれにも当てはまらない	13	92.9%	23	88.5%	20	51.3%	59	73.8%	49	71.0%	74	66.7%	82	37.6%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	2	1.8%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	3	2.7%	10	4.6%
合計	15	107.1%	27	103.8%	42	107.7%	87	108.8%	80	115.9%	118	106.3%	273	125.2%

設問 次の対象施設を利用する際に、困ることや気づくことはありますか。(それぞれの施設について、3つまで選択)

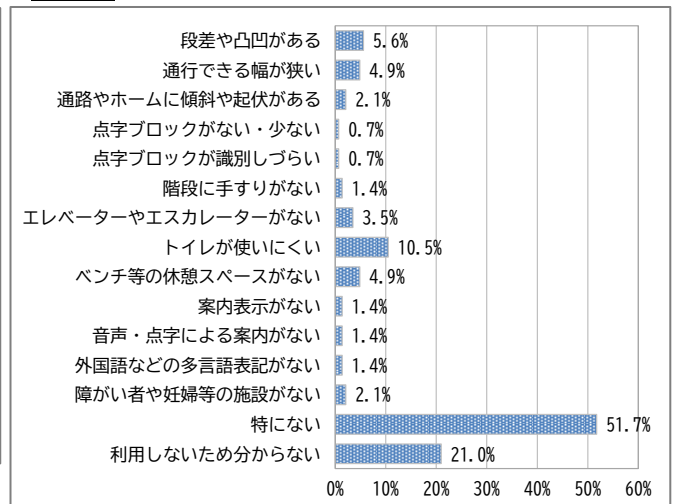
■高萩駅 市民

【n=559】



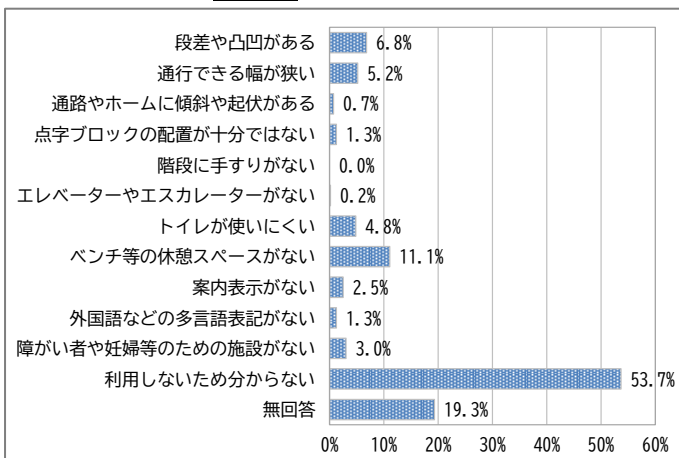
中学生

【n=143】



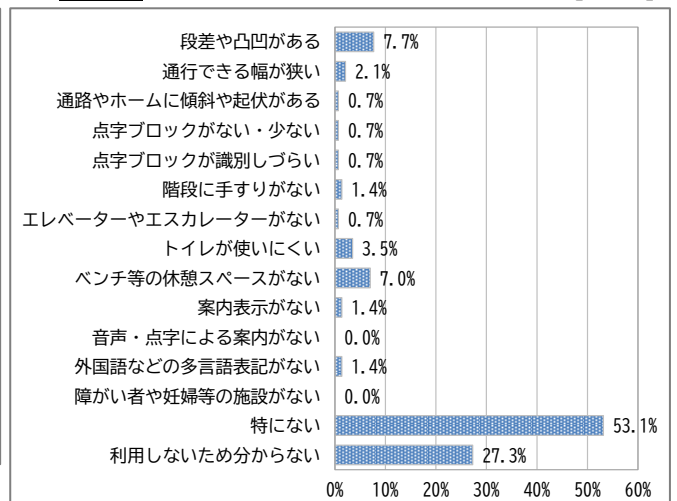
■駅前広場 市民

【n=559】

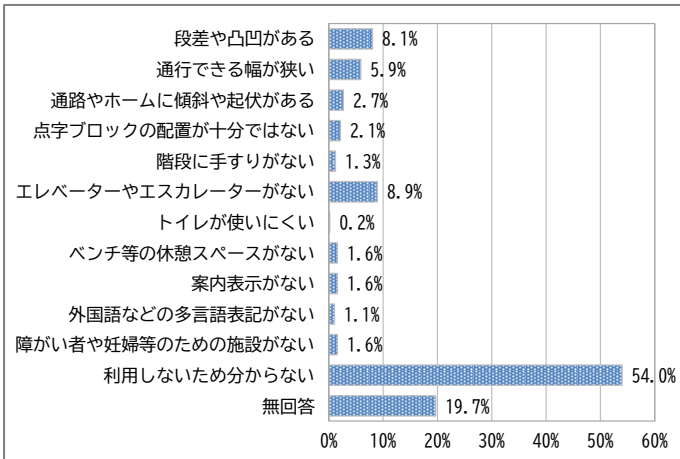


中学生

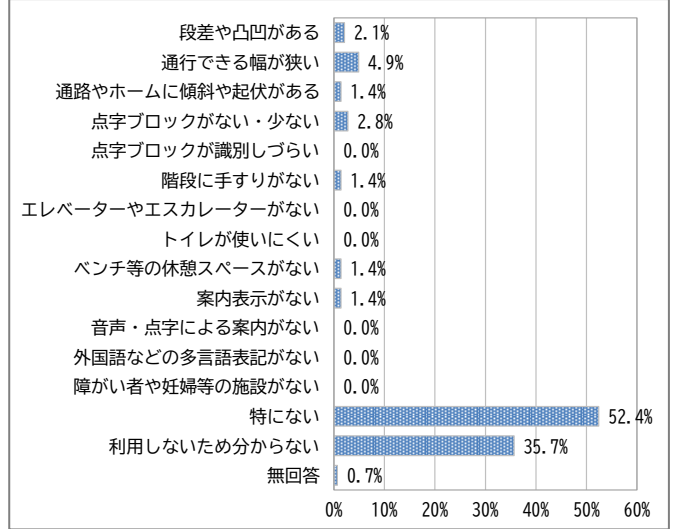
【n=143】



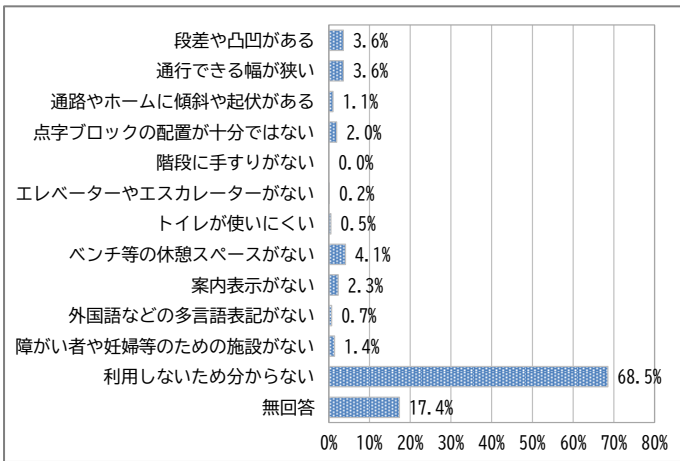
■こ線橋（JRを渡る橋） 市民 【n=559】



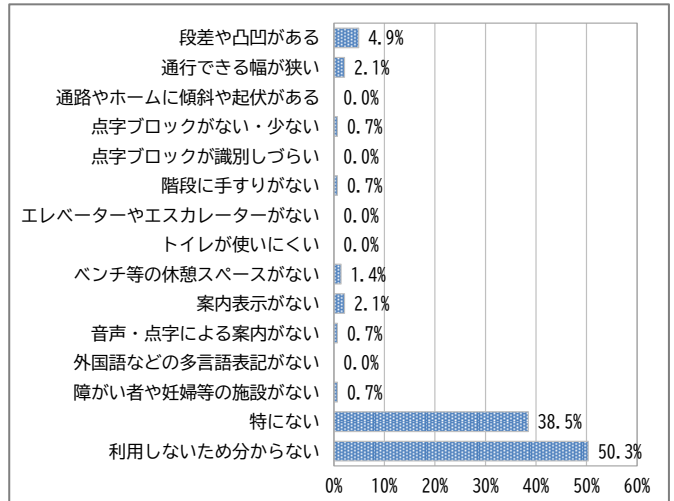
中学生 【n=143】



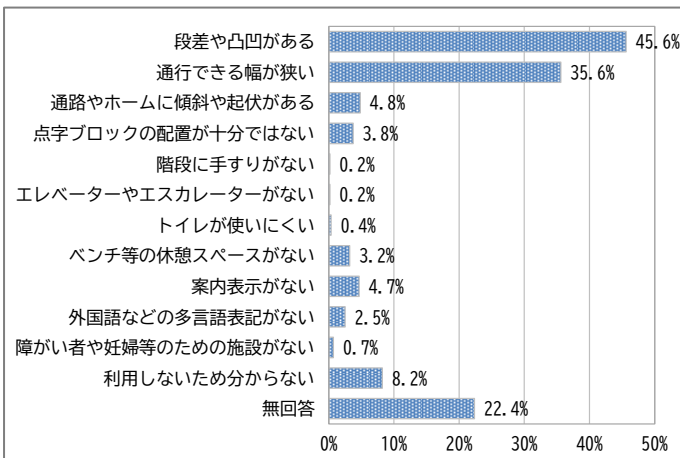
■バスターミナル 市民 【n=559】



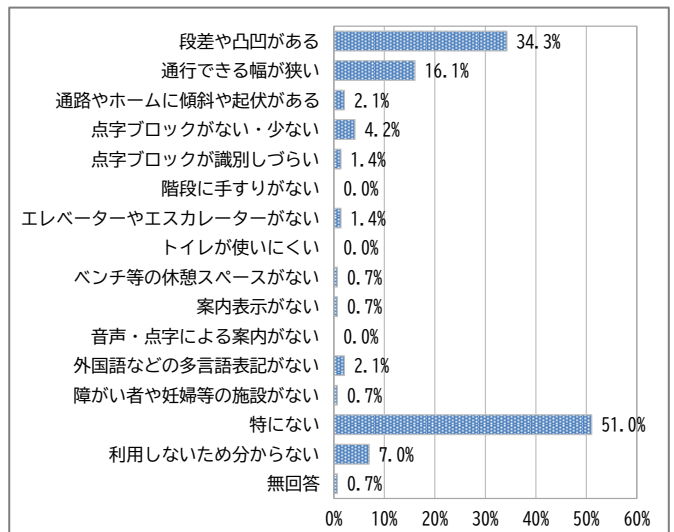
中学生 【n=143】



■道路 市民 【n=559】



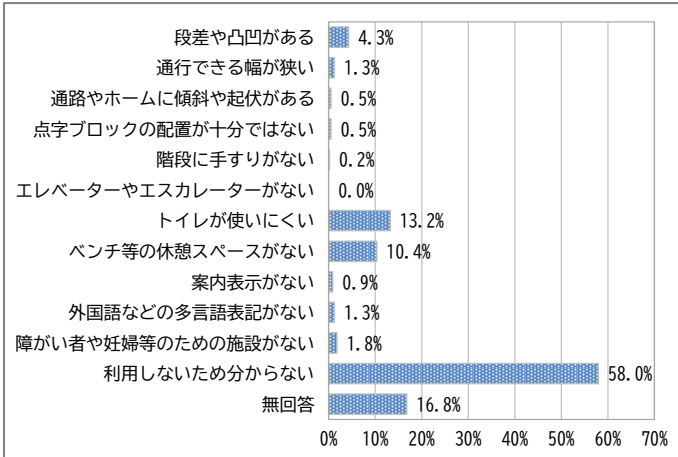
中学生 【n=143】





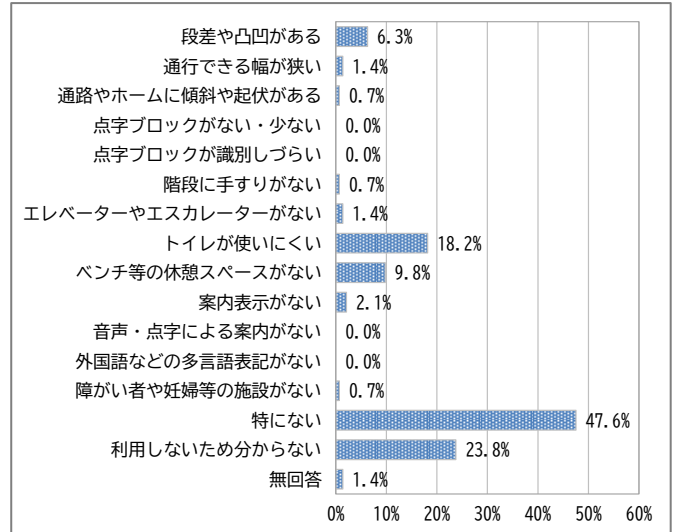
■公園 市民

【n=559】



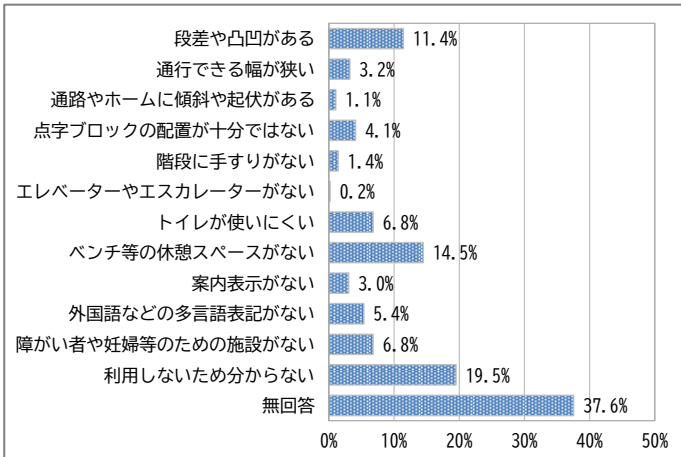
中学生

【n=143】



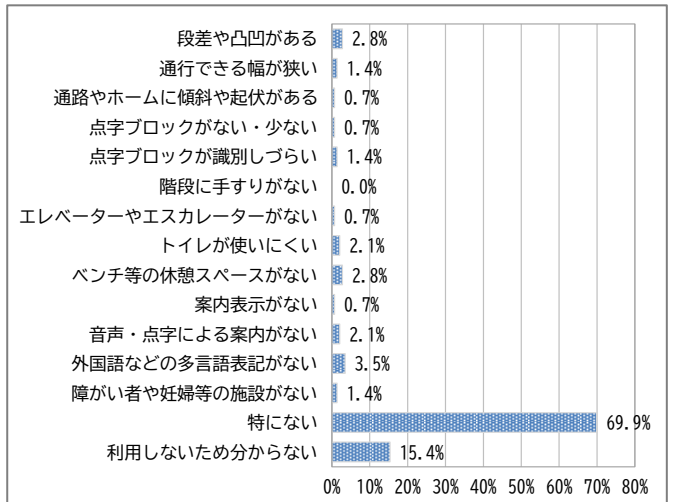
■商業施設 市民

【n=559】



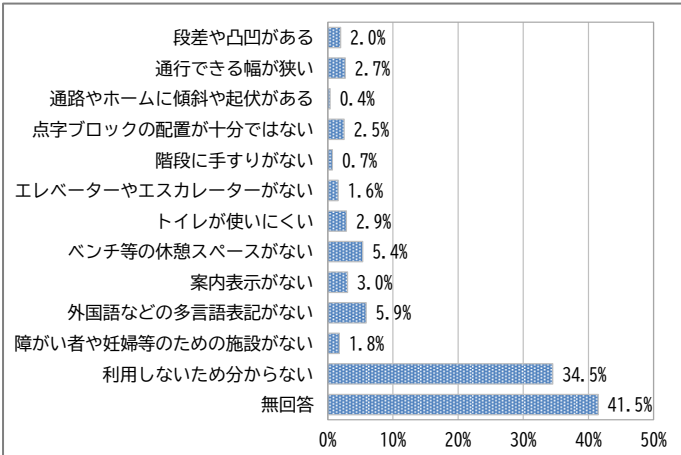
中学生

【n=143】



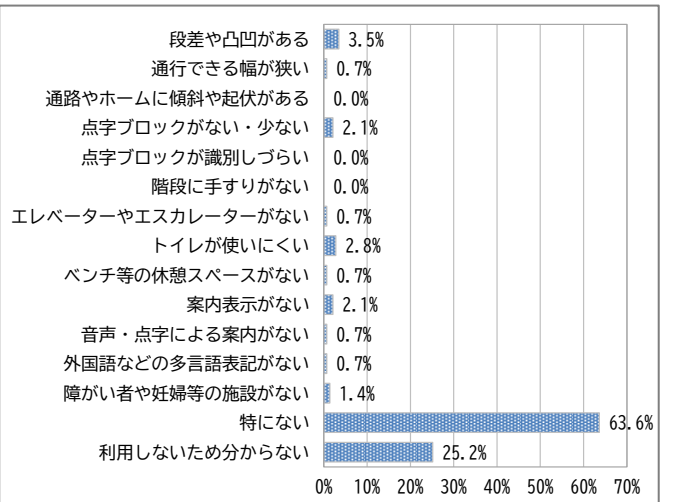
■公共施設(市役所等) 市民

【n=559】



中学生

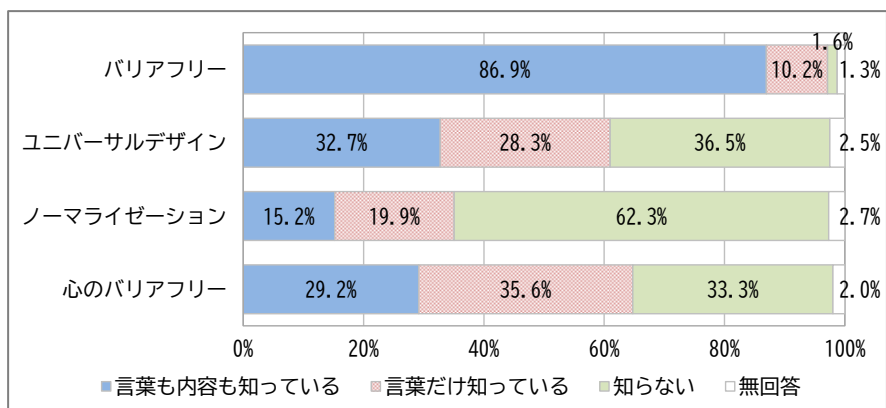
【n=143】



【バリアフリーに関する認知度】

設問 次の表に記載する用語をご存知ですか。(それぞれ1つに○)

市民

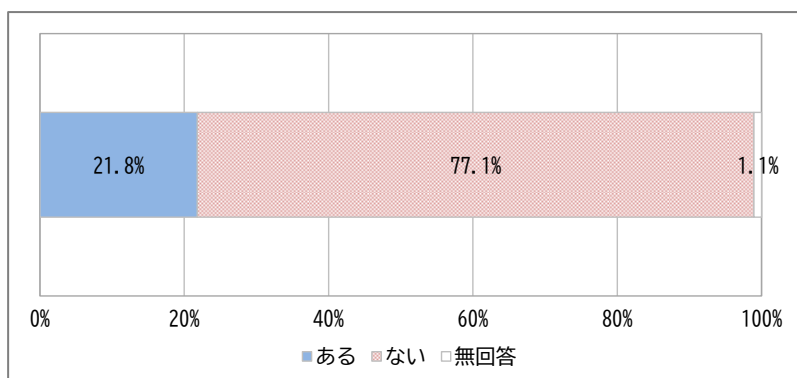


【n=559】

【支援を必要とする方への対応】

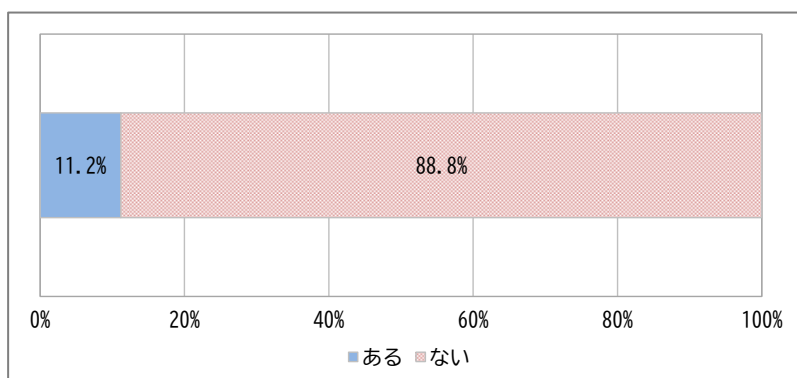
設問 最近(1~2年くらいの間)、外出先などで、障害者や高齢者、外国人や妊婦の方等が困っている場面を見かけたことがありますか。(1つに○)

市民



【n=559】

中学生

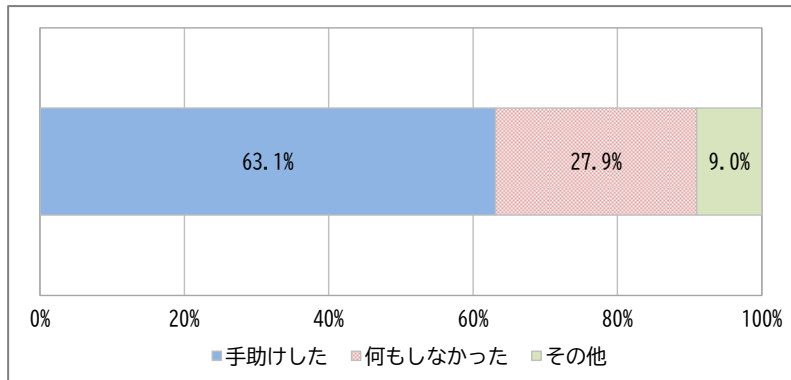


【n=143】



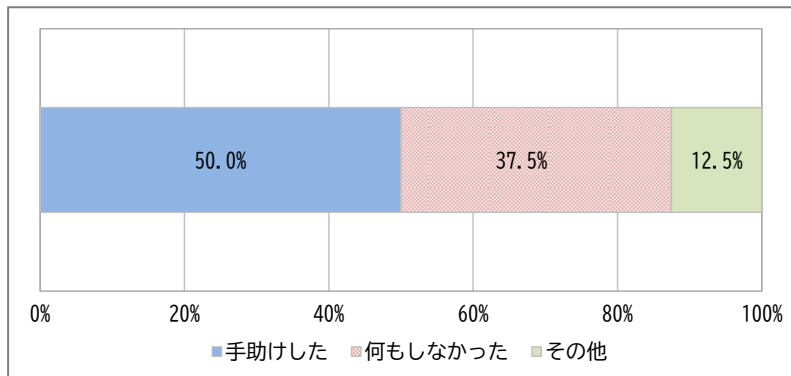
設問 前設問で「1. ある」を選んだ方にお聞きします。その時にあなたはどのようにしましたか。(1つに○)

市民



【n=122】

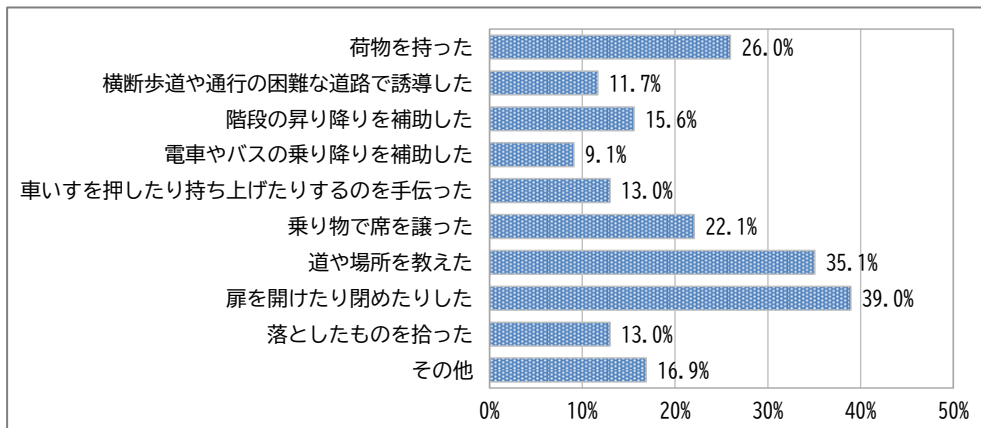
中学生



【n=16】

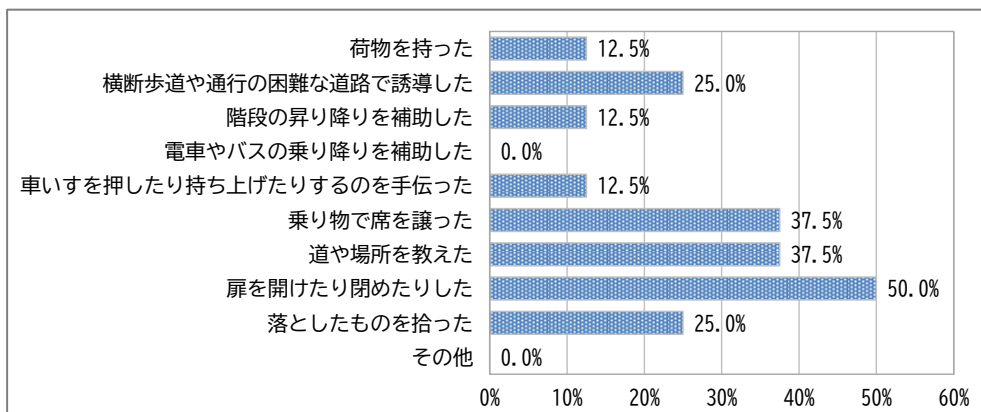
設問 前設問で「1. 手助けした」を選んだ方にお聞きします。具体的にどのような手助けをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

市民



【n=77】

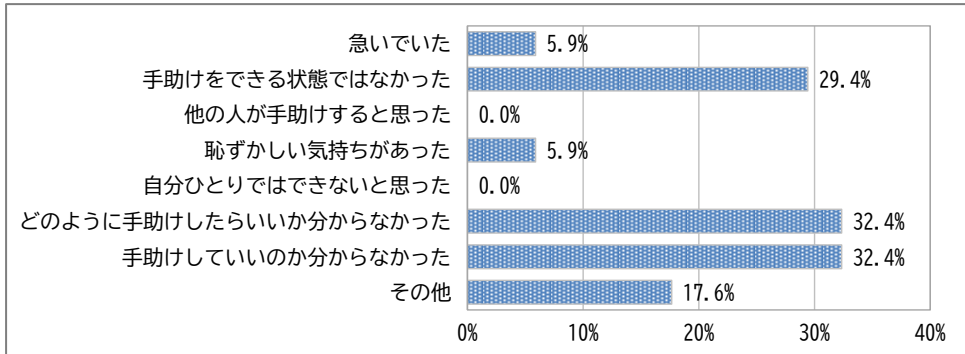
中学生



【n=8】

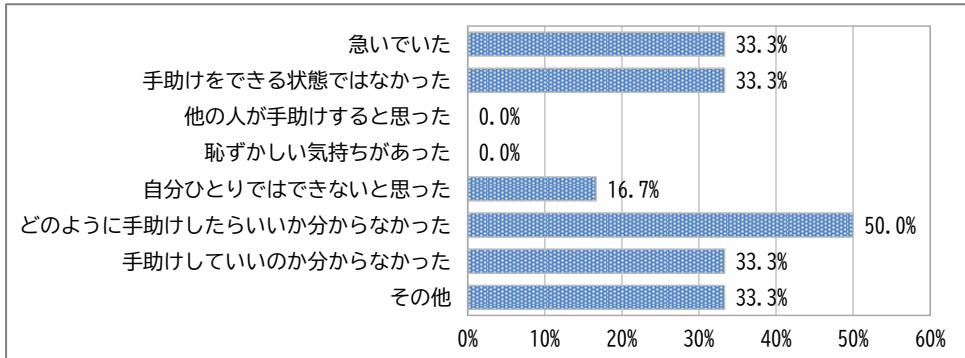
設問 前々設問で「2. 何もしなかった」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

市民



【n=34】

中学生

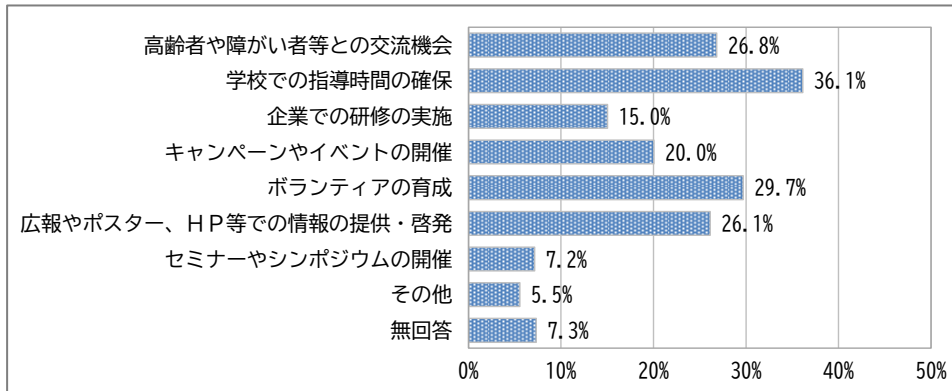


【n=6】

【支援をしやすくするための取り組み】

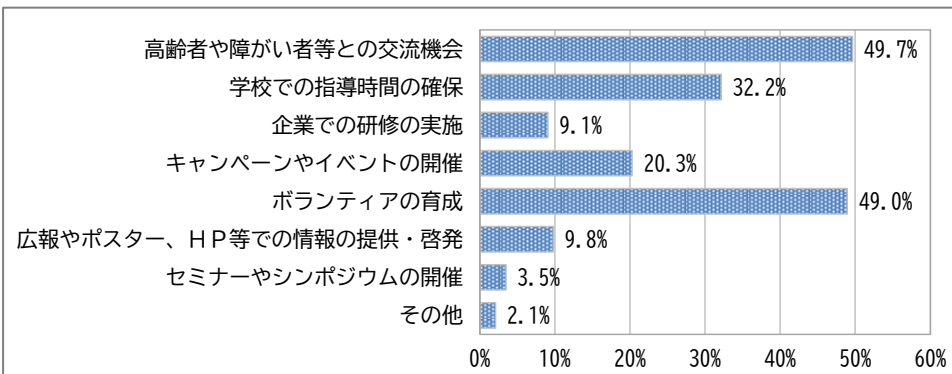
設問 「障害者や高齢者等が困っている場面などでの手助けを促進する」ためには、どのような取組が有効だと思いますか。(2つまで○)

市民



【n=559】

中学生



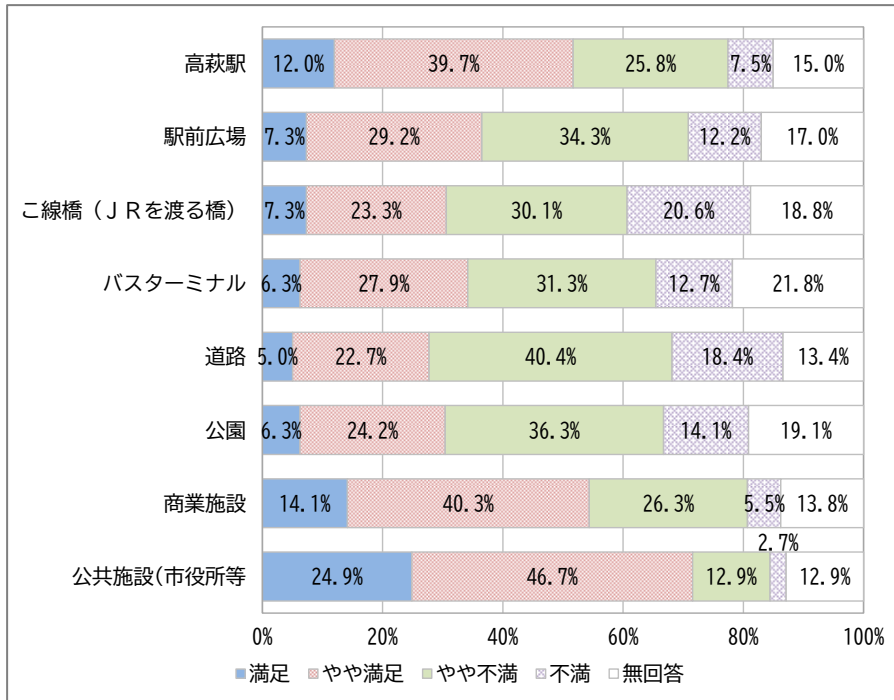
【n=143】



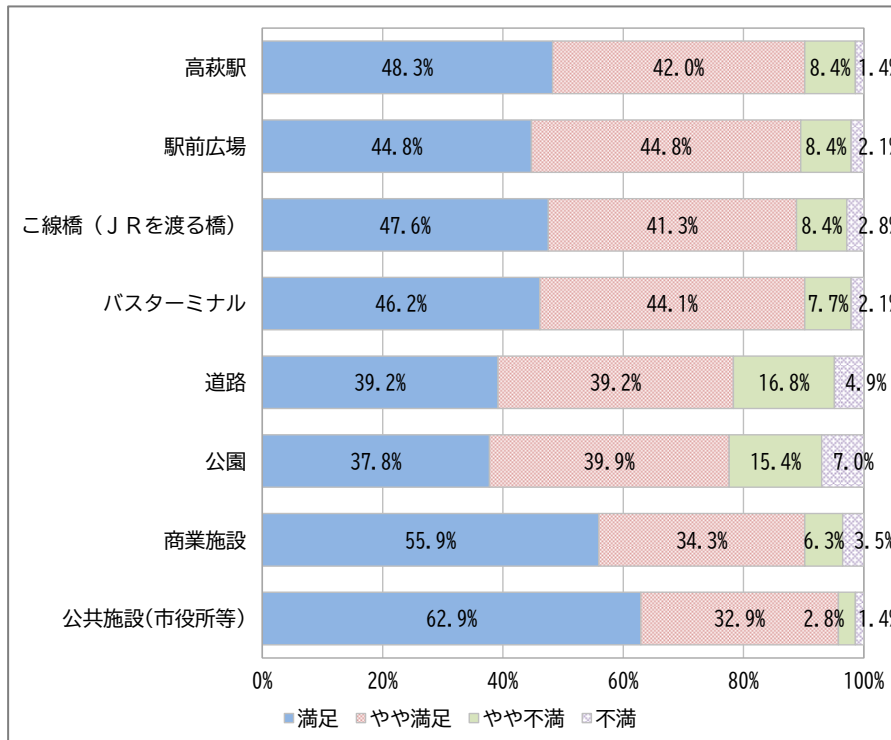
【高萩市のバリアフリー環境】

設問 これまでのご回答いただいた内容を踏まえて、高萩市内におけるバリアフリーの状況について、満足度をお答えください。(対象施設ごとにそれぞれ1つに○)

市民



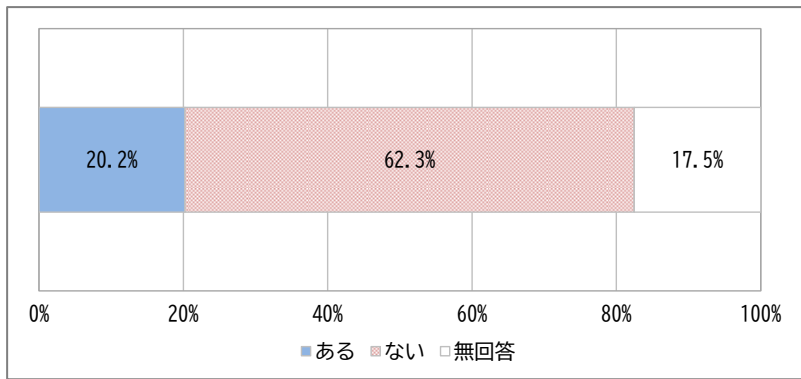
中学生



【自転車に乗っている時の危険な体験】

設問 あなたが自転車に乗っている時に、危険な体験をしたことがありますか（1つに○）

市民

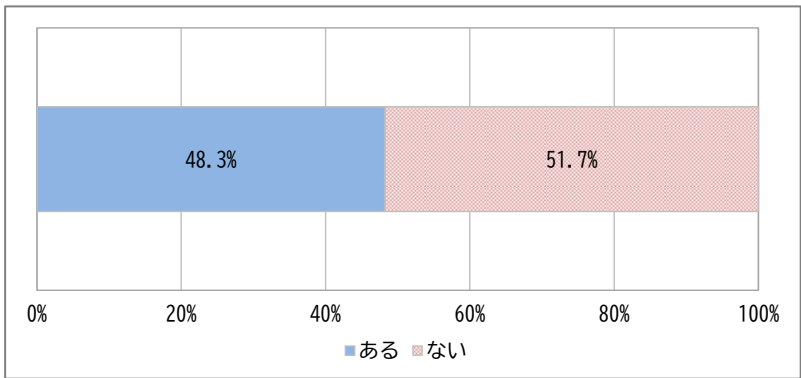


【n=559】

【年代別クロス集計】

選択項目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ある	4	28.6%	6	23.1%	14	35.9%	19	23.8%	17	24.6%	22	19.8%	31	14.2%
ない	9	64.3%	19	73.1%	24	61.5%	56	70.0%	47	68.1%	70	63.1%	123	56.4%
無回答	1	7.1%	1	3.8%	1	2.6%	5	6.3%	5	7.2%	19	17.1%	64	29.4%
合計	14	100.0%	26	100.0%	39	100.0%	80	100.0%	69	100.0%	111	100.0%	218	100.0%

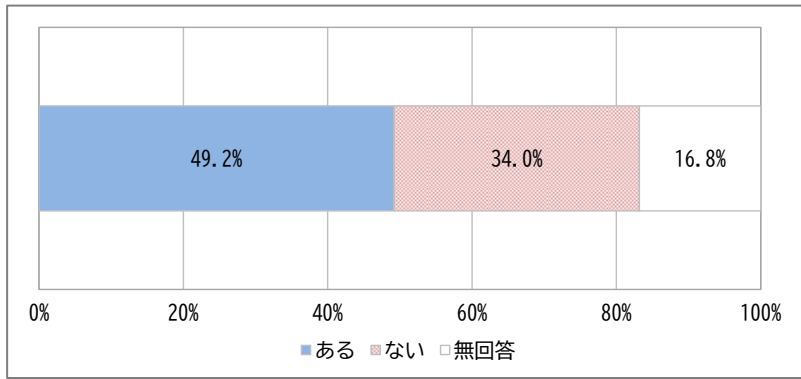
中学生



【n=143】

設問 あなたが車を運転している時に、自転車と危険な体験をしたことがありますか。（1つに○）

市民



【n=559】

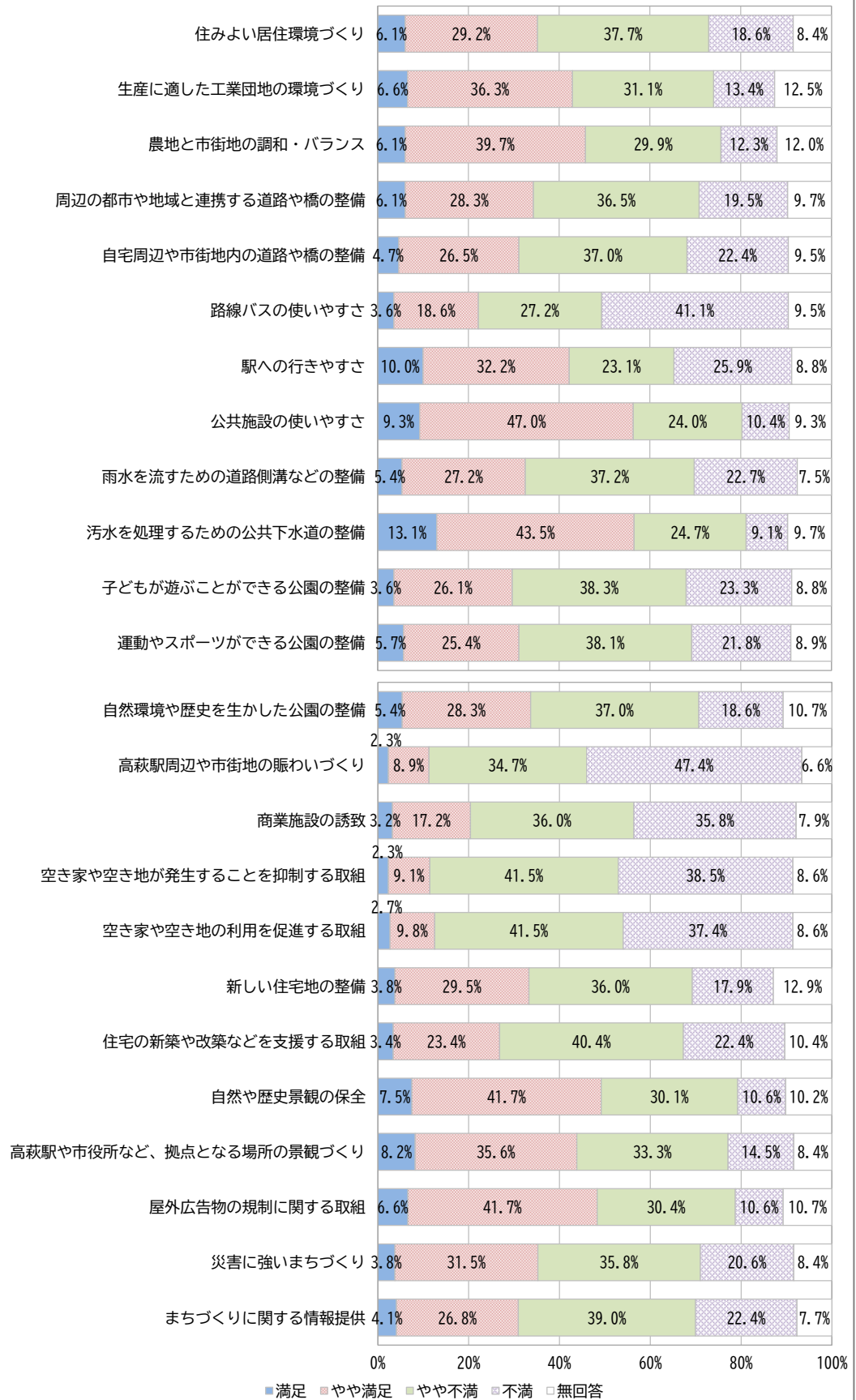


【高萩市の都市計画やまちづくりの評価】

設問 高萩市の都市計画やまちづくりの取組についてどのように評価されていますか。
(それぞれ1つに○)

市民

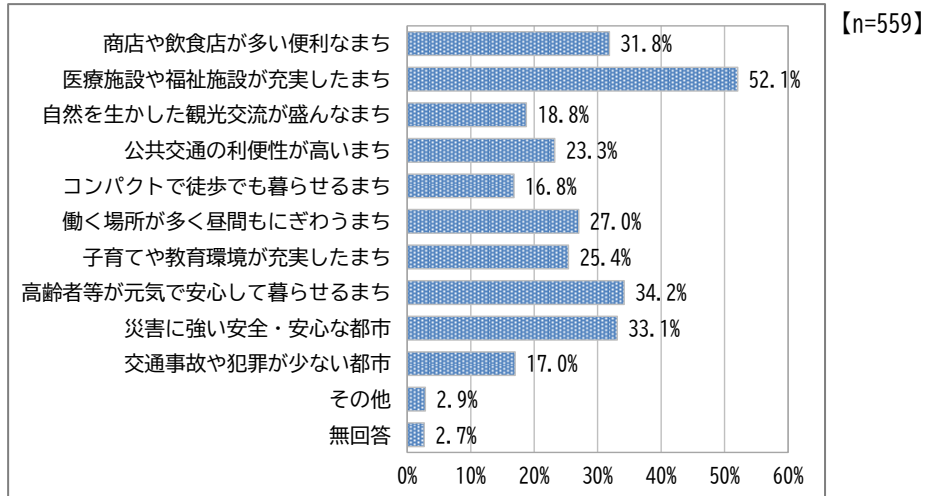
【n=559】



【高萩市の将来像や施策】

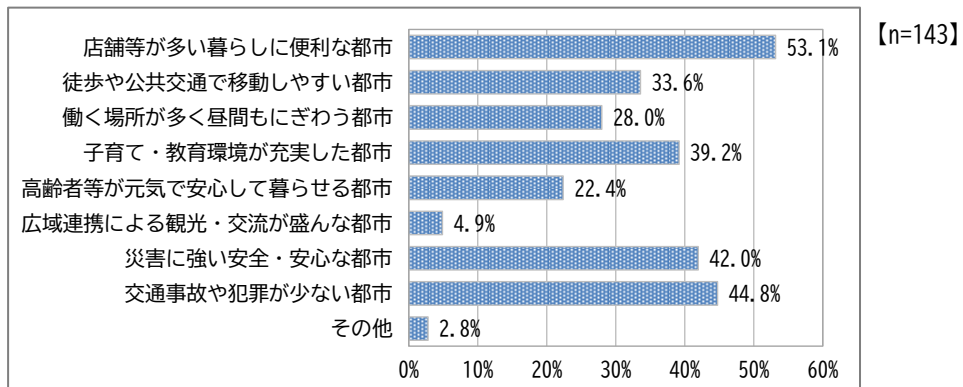
設問 高萩市について、将来どのような都市になることが望ましいとお考えですか。（3つまで○）

市民



選択項目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
商店や飲食店が多い便利なまち	6	42.9%	15	57.7%	21	53.8%	29	36.3%	26	37.7%	31	27.9%	50	22.9%
医療施設や福祉施設が充実したまち	1	7.1%	10	38.5%	23	59.0%	33	41.3%	33	47.8%	64	57.7%	126	57.8%
自然を生かした観光交流が盛んなまち	2	14.3%	5	19.2%	7	17.9%	15	18.8%	14	20.3%	21	18.9%	40	18.3%
公共交通の利便性が高いまち	6	42.9%	3	11.5%	10	25.6%	20	25.0%	17	24.6%	19	17.1%	55	25.2%
コンパクトで徒歩でも暮らせるまち	6	42.9%	2	7.7%	4	10.3%	11	13.8%	15	21.7%	17	15.3%	39	17.9%
働く場所が多く昼間にもぎわうまち	3	21.4%	6	23.1%	7	17.9%	23	28.8%	24	34.8%	37	33.3%	51	23.4%
子育てや教育環境が充実したまち	3	21.4%	12	46.2%	21	53.8%	34	42.5%	16	23.2%	25	22.5%	31	14.2%
高齢者等が元気で安心して暮らせるまち	2	14.3%	4	15.4%	8	20.5%	8	10.0%	14	20.3%	49	44.1%	106	48.6%
災害に強い安全・安心な都市	7	50.0%	6	23.1%	6	15.4%	28	35.0%	28	40.6%	35	31.5%	75	34.4%
交通事故や犯罪が少ない都市	6	42.9%	5	19.2%	5	12.8%	18	22.5%	16	23.2%	14	12.6%	30	13.8%
その他	0	0.0%	1	3.8%	2	5.1%	3	3.8%	1	1.4%	2	1.8%	7	3.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	2	2.5%	0	0.0%	1	0.9%	10	4.6%
合計	42	300.0%	69	265.4%	115	294.9%	224	280.0%	204	295.7%	315	283.8%	620	284.4%

中学生

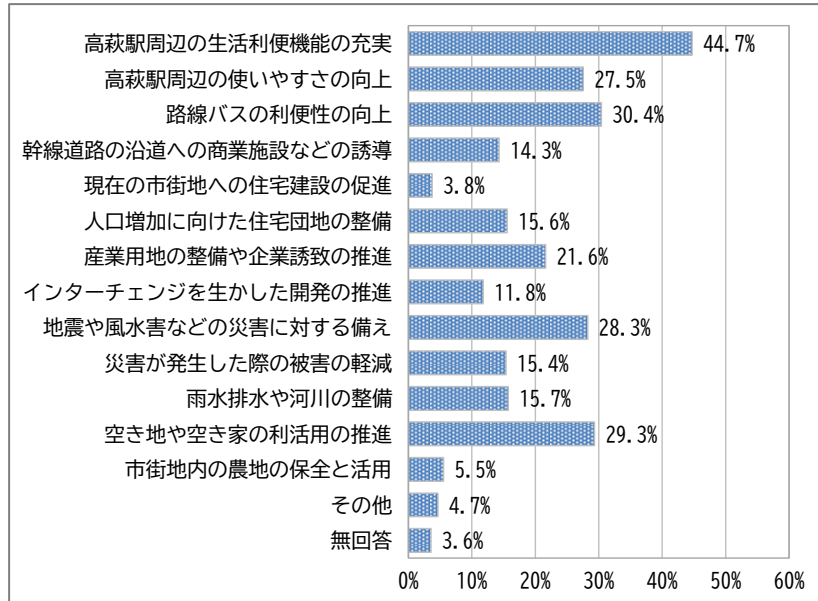




【高萩市のまちづくりに必要な取組】

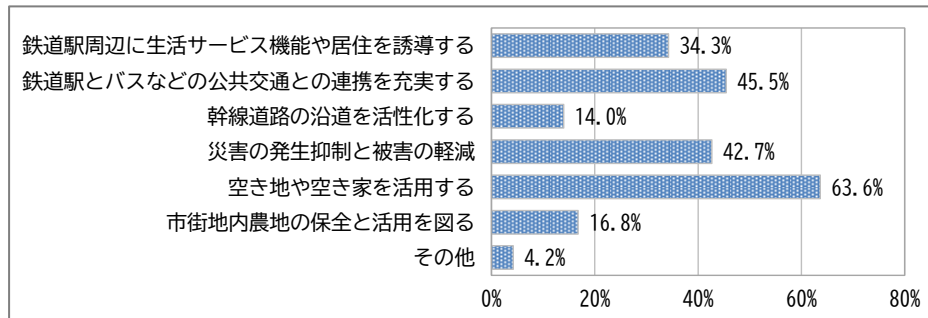
設問 今後の高萩市のまちづくりに必要な取組として、重要なものは何だと思えますか。(3つまで)

市民



【n=559】

中学生



【n=143】

高萩市バリアフリーマスタープラン

令和8年3月

発行：茨城県 高萩市 / 編集：産業建設部 都市建設課

〒318-8511 茨城県高萩市本町 1-100-1

TEL：0293-23-1111（代）

<https://www.city.takahagi.ibaraki.jp/>

高萩市

Takahagi City

